

秋田県文化財調査報告書第446集

# 遺跡詳細分布調査報告書

2009・3

秋田県教育委員会

シンボルマークは、北秋田市白坂（しろさか）遺跡出土  
の「岩偶」です。  
縄文時代晩期初頭、1992年8月発見、高さ7cm、凝灰岩。

# 遺跡詳細分布調査報告書

2009・3

秋田県教育委員会

## 序

本県には、これまでに発見された約4,900か所の遺跡をはじめとして、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、地域の歴史や伝統を理解し、未来を展望した彩り豊かな文化を創造していくうえで、欠くことのできないものであります。

一方、県内道路網や農業基盤の整備など、豊かで快適な生活を築くための地域開発が大規模に行われ、埋蔵文化財保護との調和を図ることが急務となっております。遺跡分布調査と遺跡確認調査はそのための基礎的資料となるものです。

本報告書は、平成20年度に国庫補助事業として実施した、国道のバイパス建設事業・広域基幹河川改修事業・農業水利事業などに係る遺跡分布調査と遺跡確認調査の結果をまとめたものです。

報告書をまとめるにあたり、調査に協力いただきました関係各機関に感謝申し上げるとともに、今後とも埋蔵文化財の保護につきまして御理解と御協力をいただけますようお願い申し上げます。

平成21年3月

秋田県教育委員会

教育長 根 岸 均

## 例　　言

- 1 本報告書は、平成20年度に秋田県教育委員会が国庫補助金を得て実施した、遺跡分布調査と遺跡確認調査の報告書である。なお、本書収録の報告は平成20年4月から12月までの実施分であり、平成20年1月以降の実施分については来年度に報告する予定である。また、平成20年1月から3月に実施した遺跡分布調査の結果報告を平成19年度補足分として掲載した。
- 2 本報告書に収録の遺跡分布調査、確認調査は、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室、秋田県埋蔵文化財センターの職員が担当した。報告は、遺跡分布調査については秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室が、遺跡確認調査については各調査担当者がそれぞれ作成したものを秋田県埋蔵文化財センターが編集した。
- 3 本報告書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1/25,000地形図、1/50,000地形図（承認番号 平20東第142号）ならびに国土交通省、県建設交通課が作成した平面図を複製した。なお、第3章第1節の地形図には方位記号を付けていないが、全て真上が世界測地系座標北を示している。

### 25,000分の1地形図

「碇ヶ関(6頁)昭和62年6月30日発行」、「羽後焼山(29頁)平成20年6月1日発行」、「羽後水沢(21・26頁)平成15年2月1日発行」、「大館(8頁)平成15年2月1日発行」、「毛馬内(23頁)平成11年4月1日発行」、「能代(9・21・30・61頁)平成14年9月1日発行」、「二ツ井(8・9頁)平成15年4月1日発行」、「鷹巣西部(8・25頁)平成10年7月18日発行」、「鷹巣東部(7・32・38頁)平成14年5月1日発行」、「扇田(28頁)平成14年5月1日発行」、「花輪(20頁)平成8年10月1日発行」、「大葛(23頁)平成19年3月1日発行」、「湯瀬(20・44頁)平成10年6月1日発行」、「船越(17頁)平成19年10月1日発行」、「土崎(28頁)平成18年12月1日発行」、「田沢(15頁)平成19年5月1日発行」、「秋田駒ヶ岳(15頁)平成2年2月1日発行」、「秋田東部(29頁)平成18年12月1日発行」、「羽後和田(11頁)平成19年2月1日発行」、「角館(11頁)平成19年8月1日発行」、「新波(26頁)平成19年1月1日発行」、「刈羽野(26頁)平成19年8月1日発行」、「刈和野東部(27頁)平成19年11月1日発行」、「羽後長野(18・22頁)平成19年8月1日発行」、「岩谷(27頁)平成19年1月1日発行」、「大曲(17・24頁)平成12年9月1日発行」、「六郷(18・67頁)平成12年11月1日発行」、「本荘(12・19頁)平成19年2月1日発行」、「平沢(6・10・50・55頁)平成15年3月1日発行」、「浅舞(19・22頁)平成15年5月1日発行」、「横手(24頁)平成13年2月1日発行」、「矢島(18頁)平成15年1月1日発行」、「西馬内(30頁)平成15年2月1日発行」、「十文字(30頁)平成12年8月1日発行」、「湯沢(30頁)平成15年1月1日発行」、「福庭(30頁)平成14年6月1日発行」、「横堀(13頁)平成12年10月1日発行」「小安温泉(14頁)平成14年6月1日発行」

### 50,000分の1地形図

「浅舞(16頁)平成15年5月1日発行」、「横手(16頁)平成13年2月1日発行」

## 目 次

序

例言

目次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 第1章 はじめに                      | 1  |
| 第2章 実施要項                      | 1  |
| 第1節 遺跡分布調査                    | 1  |
| 第2節 遺跡確認調査                    | 4  |
| 第3章 調査の記録                     | 6  |
| 第1節 遺跡分布調査                    | 6  |
| 1 平成19年度補足分                   | 6  |
| (1) 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業         | 6  |
| 2 平成20年度分                     | 6  |
| (1) 一般国道7号陣場視距改良工事            | 6  |
| (2) 一般国道7号鷹巣大館道路建設事業          | 7  |
| (3) 米代川災害復旧工事                 | 8  |
| (4) 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業         | 10 |
| (5) 一般国道13号河辺拡幅事業             | 11 |
| (6) 一般国道46号角館バイパス建設事業         | 11 |
| (7) 石脇地区河道掘削工事                | 12 |
| (8) 一般国道13号院内道路建設事業           | 13 |
| (9) 成瀬ダム建設事業                  | 14 |
| (10) 砂防ダム建設工事                 | 15 |
| (11) 平鹿平野(一期・二期)農業水利事業        | 16 |
| (12) 法務局大曲支局新営工事              | 17 |
| (13) 県単道路改築事業 国道101号          | 17 |
| (14) 交通安全施設等整備事業 国道105号       | 18 |
| (15) 国道道路改築事業 国道108号          | 18 |
| (16) 国道道路改築事業 国道107号          | 19 |
| (17) 交通安全施設等整備事業 国道107号       | 19 |
| (18) 交通安全施設等整備事業 国道282号       | 20 |
| (19) 交通安全施設等整備事業 国道103号       | 20 |
| (20) 地方特定道路整備事業 一般県道富根能代線     | 21 |
| (21) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道常盤峰浜線 | 21 |
| (22) 地方道路整備臨時交付金事業 一般県道白岩角館線  | 22 |
| (23) 地方道路整備臨時交付金事業 一般県道野崎十文字線 | 22 |

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| (24) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道比内大葛鹿角線  | 23 |
| (25) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道十二所花輪大湯線 | 23 |
| (26) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道横手大森大内線  | 24 |
| (27) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道大曲大森羽後線  | 24 |
| (28) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道二ツ井森吉線   | 25 |
| (29) 河川災害復旧助成事業 阿仁川              | 25 |
| (30) 総合流域防災事業 竹生川                | 26 |
| (31) 基幹河川改修事業 淀川                 | 26 |
| (32) 広域基幹河川改修事業 芋川               | 27 |
| (33) 総合流域防災事業 土買川                | 27 |
| (34) 総合流域防災事業 引欠川                | 28 |
| (35) 広域基幹河川改修事業 草生津川             | 28 |
| (36) 広域基幹河川改修事業 八田川              | 29 |
| (37) 米代線（フォレスト・コミュニティー事業）        | 29 |
| (38) （仮称）湯沢統合高校建設事業              | 30 |
| (39) 能代警察署改築事業                   | 30 |
| 第2節 遺跡確認調査                       | 31 |
| (1) 一般国道7号鷹巣大館道路建設事業             | 31 |
| ①大沢倉下遺跡                          | 31 |
| ②折戸遺跡                            | 37 |
| (2) 交通安全設備等整備事業 国道282号           | 43 |
| ①湯瀬館跡                            | 43 |
| (3) 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業            | 49 |
| ①上谷地Ⅰ遺跡                          | 49 |
| ②上谷地Ⅱ遺跡                          | 54 |
| (4) 地方特定道路整備事業 一般県道富根能代線         | 60 |
| ①前谷地遺跡                           | 60 |
| (5) 県営ほ場整備事業（本堂城回地区）             | 66 |
| ①払田柵跡                            | 66 |

## 第1章 はじめに

国庫補助を得て実施した遺跡詳細分布調査のうち、平成20年1～3月に実施した平成19年度の補足分は、一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業に係る遺跡分布調査1件である。平成20年4月～12月には、一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業、一般国道13号院内道路建設事業、国道県道改築事業、県警本部警察署新築工事等に係る遺跡分布調査38件と、一般国道7号鷹巣大館道路建設事業、一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業、地方道路交付金事業等に係る遺跡確認調査4件である。これらの調査はすでに策定してある調査要項に基づいて、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室職員、秋田県埋蔵文化財センター職員が、地元教育委員会職員の協力を得て、平成20年1月から平成20年12月にかけて実施したものである。

## 第2章 実施要項

### 第1節 遺跡分布調査

#### 1 調査の目的

開発予定地内を踏査・試掘して遺跡の有無を確認し、遺跡の保護策を講ずる。

#### 2 調査の方法

- (1) 計画地域の範囲内で遺物の表面採集および試掘調査を実施して遺跡の所在を確認するとともに、遺跡の性格についても把握する。
- (2) 確認された遺跡は地図に記入し、位置を記録する。
- (3) 遺跡の状況、遠景を写真撮影し、遺跡の概要も記録する。

#### 3 事業主体者

秋田県教育委員会

#### 4 調査担当者

|                   |        |                      |
|-------------------|--------|----------------------|
| 秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室 | 主任学芸主事 | 菊池 晋                 |
|                   | 学芸主事   | 五十嵐一治 糸屋和憲(～H20.3まで) |
|                   | 文化財主任  | 村上義直                 |
|                   | 文化財主事  | 新海和広                 |

\*調査に当たっては以下の各教育委員会の方々に御協力いただいた。

細田昌史（北秋田市）、山崎和夫・伊藤仁（能代市）、市川信英（藤里町）、佐藤錠司・三原裕姫子（由利本荘市）、佐々木正憲・石船清隆（にかほ市）、高橋仁・伊藤薰（仙北市）、熊谷直栄・高橋一倫（大仙市）、最上正美・亀井崇晃（美郷町）、金野寛子（湯沢市）、菊地剛（東成瀬村）

\*職名は調査時のものである。

## 5. 調査対象地域及び事業名

※平成19年度補足分（平成20年1月～3月）

| No | 事業者   | 事業名               | 事業地  | 調査期間     | 調査内容 | 調査結果             |
|----|-------|-------------------|------|----------|------|------------------|
| 1  | 国土交通省 | 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業 | にかほ市 | 1月16・18日 | 試掘   | 遺構・遺物等は確認できなかった。 |

※平成20年度分（平成20年4月～12月）

| No | 事業者   | 事業名                      | 事業地          | 調査期間                                   | 調査内容     | 調査結果                           |
|----|-------|--------------------------|--------------|--|----------|--------------------------------|
| 1  | 国土交通省 | 一般国道7号陣場視距改良工事           | 大館市          | 4月18日                                  | 踏査       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。              |
| 2  | 国土交通省 | 一般国道7号廣渠大館道路建設事業         | 北秋田市         | 8月5日                                   | 踏査       | 事業地内で周知の遺跡1か所を確認した。            |
| 3  | 国土交通省 | 米代川灾害復旧工事                | 大館市、北秋田市、能代市 | 9月25日                                  | 踏査       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。              |
| 4  | 国土交通省 | 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業        | にかほ市         | 4月14日、5月1・26日、7月11日、11月10・11・14・20・21日 | 踏査<br>試掘 | 事業地内で新発見の遺跡2か所と、周知の遺跡2か所を確認した。 |
| 5  | 国土交通省 | 一般国道13号河辺払幅事業            | 秋田市          | 11月14日                                 | 試掘       | 事業地内で新発見の遺跡1か所を確認した。           |
| 6  | 国土交通省 | 一般国道46号角館バイパス建設事業        | 仙北市          | 10月9日、12月16日                           | 踏査<br>試掘 | 事業地内で周知の遺跡1か所を確認した。            |
| 7  | 国土交通省 | 石牆地区河道掘削工事               | 由利本荘市        | 7月1日、12月3日                             | 試掘       | 事業地内で周知の遺跡1か所を確認した。            |
| 8  | 国土交通省 | 一般国道13号院内道路建設事業          | 湯沢市          | 4月30日、5月2・23日、8月29日、9月30日              | 試掘       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。              |
| 9  | 国土交通省 | 成瀬ダム建設事業                 | 東成瀬村         | 5月29日、9月16・17日                         | 踏査<br>試掘 | 今年度事業地内で新発見の遺跡1か所を確認した。        |
| 10 | 国土交通省 | 砂防ダム建設工事                 | 仙北市          | 10月9日                                  | 踏査       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。              |
| 11 | 農林水産省 | 平鹿平野(一期・二期)農業水利事業        | 横手市          | 8月1日                                   | 踏査       | 事業地内で周知の遺跡6か所を確認した。            |
| 12 | 法務省   | 法務局大曲支局新営工事              | 大仙市          | 6月20日                                  | 試掘       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。              |
| 13 | 建設交通部 | 県単道路改築事業 国道101号          | 男鹿市          | 8月27日                                  | 試掘       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。              |
| 14 | 建設交通部 | 交通安全施設等整備事業 国道105号       | 大仙市          | 10月1日                                  | 踏査       | 事業地内で試掘候補地を選定した。               |
| 15 | 建設交通部 | 国道道路改築事業 国道108号          | 由利本荘市        | 10月1日                                  | 踏査       | 事業地内で試掘候補地を選定した。               |
| 16 | 建設交通部 | 国道道路改築事業 国道107号          | 由利本荘市        | 10月1日、12月3日                            | 踏査<br>試掘 | 事業地内で遺跡は確認されなかった。              |
| 17 | 建設交通部 | 交通安全施設等整備事業 国道107号       | 横手市          | 10月1日                                  | 踏査       | 事業地内で試掘候補地を選定した。               |
| 18 | 建設交通部 | 交通安全施設等整備事業 国道282号       | 鹿角市          | 10月7日                                  | 踏査       | 事業地内で周知の遺跡1か所を確認した。            |
| 19 | 建設交通部 | 交通安全施設等整備事業 国道103号       | 鹿角市          | 10月7日                                  | 踏査       | 事業地内で試掘候補地を選定した。               |
| 20 | 建設交通部 | 地方特定道路整備事業 一般県道富根能代線     | 能代市          | 6月10・20日                               | 踏査<br>試掘 | 今年度の事業地内で新発見の遺跡1か所を確認した。       |
| 21 | 建設交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道常盤峰浜線 | 八峰町          | 9月25日                                  | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。          |
| 22 | 建設交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業 一般県道白岩角館線  | 仙北市          | 10月1日                                  | 踏査       | 事業地内で試掘候補地を選定した。               |

| No. | 事業者       | 事業名                            | 事業地   | 調査期間                         | 調査内容     | 調査結果                  |
|-----|-----------|--------------------------------|-------|------------------------------|----------|-----------------------|
| 23  | 建設<br>交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業<br>一般県道野崎十文字線    | 横手市   | 10月1日、<br>11月13日             | 踏査<br>試掘 | 今年度事業地内で遺跡は確認されなかった。  |
| 24  | 建設<br>交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業<br>主要地方道北内大葛鹿角線  | 大館市   | 10月7日                        | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 25  | 建設<br>交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業<br>主要地方道十二所花輪大湯線 | 鹿角市   | 10月7日                        | 踏査       | 事業地内で周知の遺跡1か所を確認した。   |
| 26  | 建設<br>交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業<br>主要地方道横手大森内線   | 横手市   | 10月17日                       | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 27  | 建設<br>交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業<br>主要地方道大曲大森羽後線  | 大仙市   | 10月30日                       | 試掘       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。     |
| 28  | 建設<br>交通部 | 地方道路整備臨時交付金事業<br>主要地方道二ツ井森吉線   | 北秋田市  | 11月4日                        | 試掘       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 29  | 建設<br>交通部 | 河川災害復旧助成事業 阿仁川                 | 北秋田市  | 5月21・22日、<br>8月28日、<br>11月4日 | 踏査<br>試掘 | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 30  | 建設<br>交通部 | 総合流域防災事業 竹生川                   | 八峰町   | 9月25日                        | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 31  | 建設<br>交通部 | 広域基幹河川改修事業 淀川                  | 大仙市   | 9月29日                        | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 32  | 建設<br>交通部 | 広域基幹河川改修事業 芦川                  | 由利本荘市 | 10月1日                        | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 33  | 建設<br>交通部 | 総合流域防災事業 土買川                   | 大仙市   | 10月6日                        | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 34  | 建設<br>交通部 | 総合流域防災事業 引欠川                   | 大館市   | 10月7日                        | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 35  | 建設<br>交通部 | 広域基幹河川改修事業 草生津川                | 秋田市   | 10月20日                       | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 36  | 建設<br>交通部 | 広域基幹河川改修事業 八田川                 | 秋田市   | 10月20日                       | 踏査       | 今年度の事業地内で遺跡は確認されなかった。 |
| 37  | 農林<br>水産部 | 米代線(フォレスト・コミュニティ事業)            | 藤里町   | 10月10日                       | 踏査       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。     |
| 38  | 教育<br>庁   | (仮称)湯沢統合高校建設事業                 | 湯沢市   | 6月27日                        | 踏査       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。     |
| 39  | 県警本部      | 能代警察署改築事業                      | 能代市   | 10月30日                       | 試掘       | 事業地内で遺跡は確認されなかった。     |

## ※平成20年度工事立会(平成20年4月～12月)

| No. | 事業者       | 事業名               | 事業地  | 立会期間                   | 立会結果           | 備考                               |
|-----|-----------|-------------------|------|------------------------|----------------|----------------------------------|
| 1   | 国土<br>交通省 | 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業 | にかほ市 | 4月8日                   | 遺構遺物は確認できなかった。 | 新協田遺跡(周知の遺跡)                     |
| 2   | 国土<br>交通省 | 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業 | にかほ市 | 4月14日                  | 遺構遺物は確認できなかった。 |                                  |
| 3   | 国土<br>交通省 | 一般国道13号院内道路建設事業   | 湯沢市  | 10月27・29日、<br>11月2・19日 | 遺構遺物は確認できなかった。 | 白鹿跡(周知の遺跡)                       |
| 4   | 農林<br>水産省 | 皆瀬4号幹線用水路工事       | 横手市  | 10月22日                 | 遺構遺物は確認できなかった。 | 下南沼遺跡・境沢田遺跡・中郡道路・榜見内古船A遺跡(周知の遺跡) |
| 5   | 農林<br>水産省 | 皆瀬3号幹線用水路工事       | 横手市  | 11月12日                 | 遺構遺物は確認できなかった。 | 宝堂堂II遺跡(周知の遺跡)                   |
| 6   | 農林<br>水産省 | 皆瀬6号幹線用水路工事       | 横手市  | 12月15日                 | 遺構遺物は確認できなかった。 | 前田城跡(周知の遺跡)                      |
| 7   | 国土<br>交通省 | 一般国道7号漬渠大師道路      | 大館市  | 12月24日                 | 遺構遺物は確認できなかった。 |                                  |

## 第2節 遺跡確認調査

### 1 調査の目的

開発事業計画に係る遺跡の広がり、埋没の度合い、時代とその性格を知るために当該地域での遺物の表面採集及び小規模の発掘調査（遺構確認面までの掘り下げ）を行い、当該埋蔵文化財の保護と保存を図る。

### 2 調査の方法

- (1) 地形を考慮したトレーニング及び試掘坑を設定して行う。また、遺構等が確認された場合、出来る限り面的に調査範囲を広げてその確認に努める。
- (2) 確認された遺構・遺物、遺物包含層、堆積土の厚さなどは、実測図などにより記録する。また、遺跡の全景と調査状況、遺構・遺物の確認状況などは写真撮影する。
- (3) 使用する地形図は開発部局で作成した最大縮尺の図面とする。

### 3 事業主体者

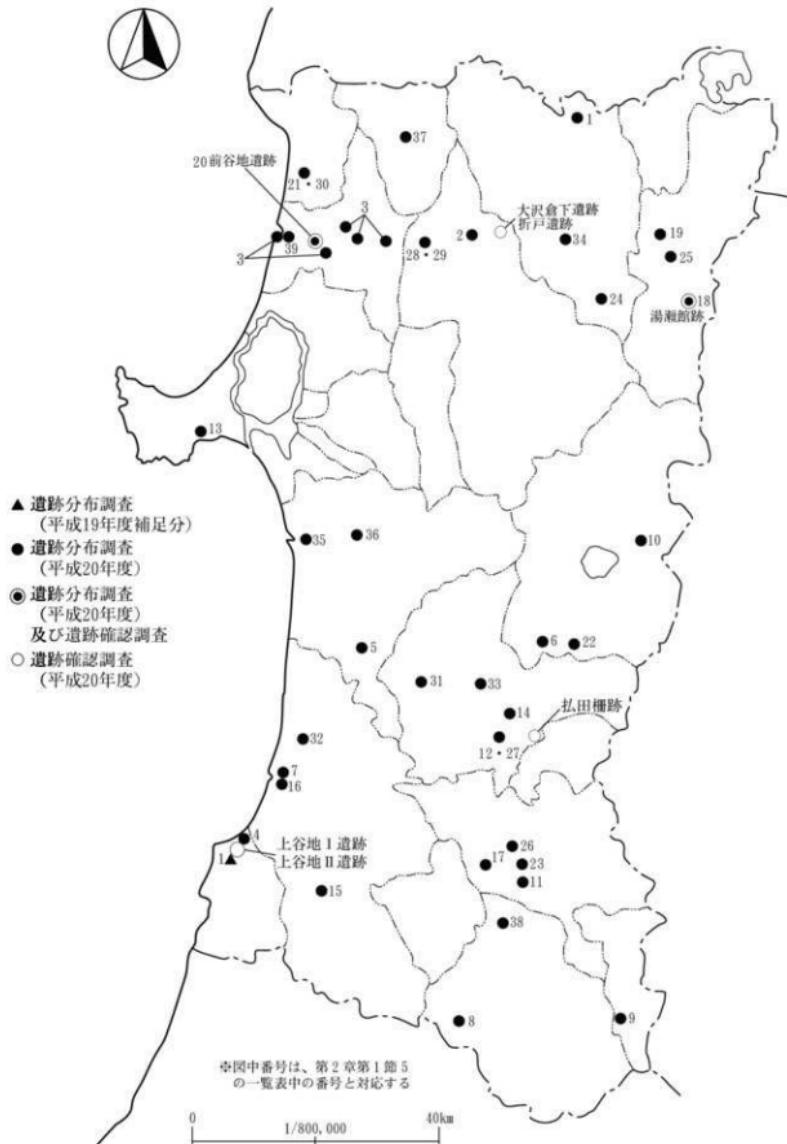
秋田県教育委員会

### 4 調査担当者

|              |        |       |      |     |
|--------------|--------|-------|------|-----|
| 秋田県埋蔵文化財センター | 学芸主事   | 袴田道郎  | 藤田賢哉 | 山村剛 |
|              | 文化財主任  | 宇田川浩一 | 加藤朋夏 |     |
|              | 文化財主事  | 菅野美香子 |      |     |
|              | 調査・研究員 | 佐々木公法 |      |     |

### 5 調査対象遺跡及び事業名

| No. | 事業名                  | 遺跡名(所在地)      | 調査期間                   | 調査担当者  |
|-----|----------------------|---------------|------------------------|--------|
| ①   | 一般国道7号廣巣大館道路建設事業     | 大沢倉下遺跡(北秋田市)  | 平成20年11月4日<br>～11月14日  | 加藤・佐々木 |
| ②   | 一般国道7号廣巣大館道路建設事業     | 折戸遺跡(北秋田市)    | 平成20年11月4日<br>～11月14日  | 加藤・佐々木 |
| ③   | 交通安全設備等整備事業 国道282号   | 湯瀬館跡(鹿角市)     | 平成20年10月20日<br>～10月24日 | 宇田川・菅野 |
| ④   | 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業    | 上谷地I遺跡(にかほ市)  | 平成20年10月27日<br>～11月7日  | 袴田・山村  |
| ⑤   | 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業    | 上谷地II遺跡(にかほ市) | 平成20年10月27日<br>～11月7日  | 袴田・山村  |
| ⑥   | 地方特定道路整備事業 一般県道富根能代線 | 前谷地遺跡(能代市)    | 平成20年10月6日<br>～10月24日  | 袴田・山村  |
| ⑦   | 県営ほ場整備事業(本堂城同地区)     | 払田櫛跡(大仙市)     | 平成20年11月4日<br>～12月25日  | 藤田     |



第1図 遺跡分布調査・遺跡確認調査地点図

## 第3章 調査の記録

### 第1節 遺跡分布調査

#### 1. 平成19年度補足分

##### (1)一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業

前年度に発見した新脇田遺跡の大沢川隣接地の試掘を行った。試掘の結果、遺構・遺物は確認できなかったため、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名   | 所在地        | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|------------|----|----|-------|----|
| 1   | 新脇田遺跡 | にかほ市院内字新脇田 | 古代 | 水田 | なし    |    |



第2図 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業 遺跡分布調査位置図

#### 2. 平成20年度分

##### (1)一般国道7号陣場視距改良工事

青森県との県境付近の事業地内を踏査した結果、既に大規模な地形改変が行われていることを確認したため、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地      | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|----------|----|----|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 大館市長走字陣場 | ・・ | 山林 | なし    |    |

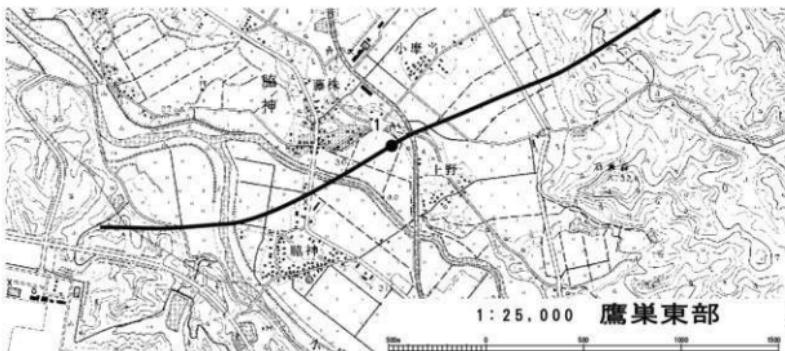


第3図 一般国道7号陣場視距改良工事 遺跡分布調査位置図

## (2)一般国道7号鷹巣大館道路建設事業

北秋田市から大館市に至る鷹巣大館道路の建設予定地（あきた北空港IC～北秋田市栄）を踏査し、周知の遺跡1か所を確認した。今後、全域を対象とした試掘が必要である。

| No. | 遺跡名  | 所在地          | 時代 | 現況  | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|--------------|----|-----|-------|----|
| 1   | 藤株遺跡 | 北秋田市脇神字藤株塚ノ岱 | 縄文 | 畠地等 | なし    |    |



第4図 一般国道7号鷹巣大館道路建設事業 遺跡分布調査位置図

## (3)米代川災害復旧工事

大館市から能代市にいたる米代川河川敷周辺の踏査を行った。踏査対象地点は、河道掘削、堤防強化、築堤予定地の計13か所である。踏査地点に埋蔵文化財が包蔵されている可能性は極めて低いと考えられるため、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

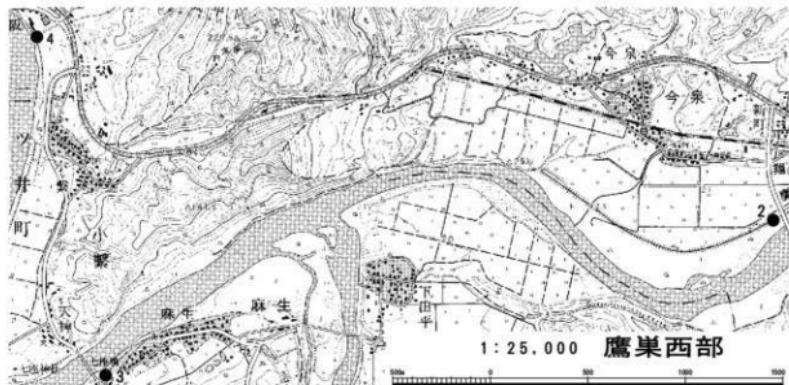
| No. | 遺跡名   | 所在地      | 時代 | 現況  | 遺構・遺物 | 備考   |
|-----|-------|----------|----|-----|-------|------|
| 1   | ・・・・・ | 大館市山田渡地区 | ・・ | 水田  | なし    | 築堤   |
| 2   | ・・・・・ | 北秋田市今泉地区 | ・・ | 堤防  | なし    | 堤防強化 |
| 3   | ・・・・・ | 能代市麻生地区  | ・・ | 堤防  | なし    | 築堤   |
| 4   | ・・・・・ | 能代市小繫地区  | ・・ | 堤防  | なし    | 築堤   |
| 5   | ・・・・・ | 能代市二ツ井地区 | ・・ | 河川敷 | なし    | 河道掘削 |
| 6   | ・・・・・ | 能代市切石地区  | ・・ | 河川敷 | なし    | 河道掘削 |
| 7   | ・・・・・ | 能代市天内地区  | ・・ | 堤防  | なし    | 堤防強化 |
| 8   | ・・・・・ | 能代市天内地区  | ・・ | 水田  | なし    | 築堤   |
| 9   | ・・・・・ | 能代市常盤地区  | ・・ | 河川敷 | なし    | 築堤   |
| 10  | ・・・・・ | 能代市鶴形地区  | ・・ | 堤防  | なし    | 河道掘削 |
| 11  | ・・・・・ | 能代市鶴形地区  | ・・ | 河川敷 | なし    | 堤防強化 |
| 12  | ・・・・・ | 能代市朴瀬地区  | ・・ | 堤防  | なし    | 堤防強化 |
| 13  | ・・・・・ | 能代市朴瀬地区  | ・・ | 河川敷 | なし    | 河道掘削 |
| 14  | ・・・・・ | 能代市扇田地区  | ・・ | 堤防  | なし    | 堤防強化 |



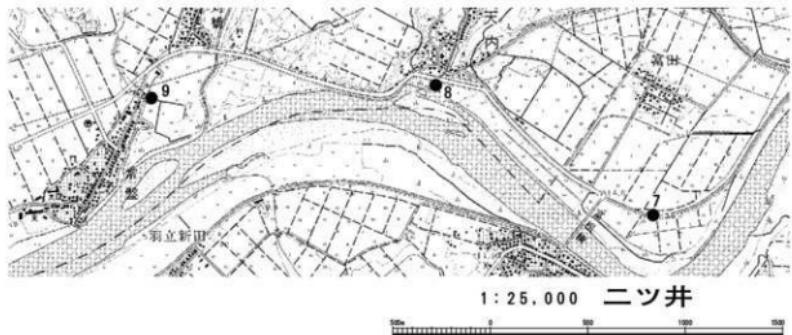
第5図 米代川災害復旧工事  
遺跡分布調査位置図（1）



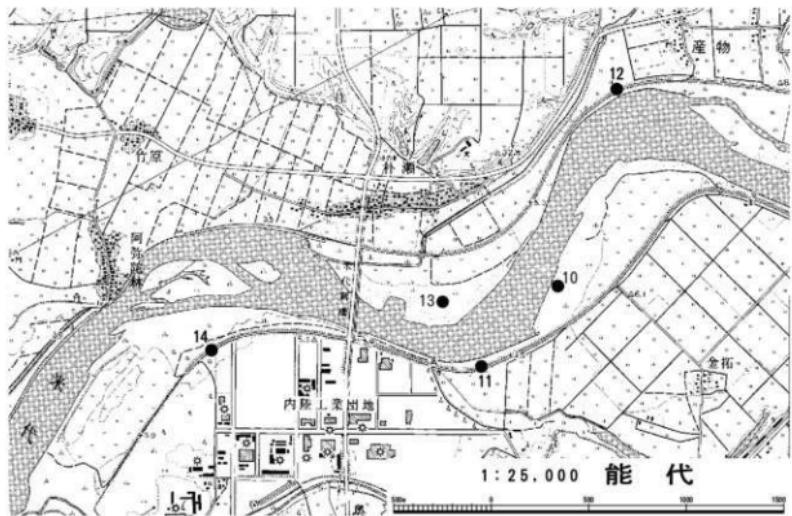
第6図 米代川災害復旧工事  
遺跡分布調査位置図（2）



第7図 米代川災害復旧工事 遺跡分布調査位置図（3）



第8図 米代川災害復旧工事 遺跡分布調査位置図（4）



第9図 米代川災害復旧工事 遺跡分布調査位置図（5）

## (4)一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業

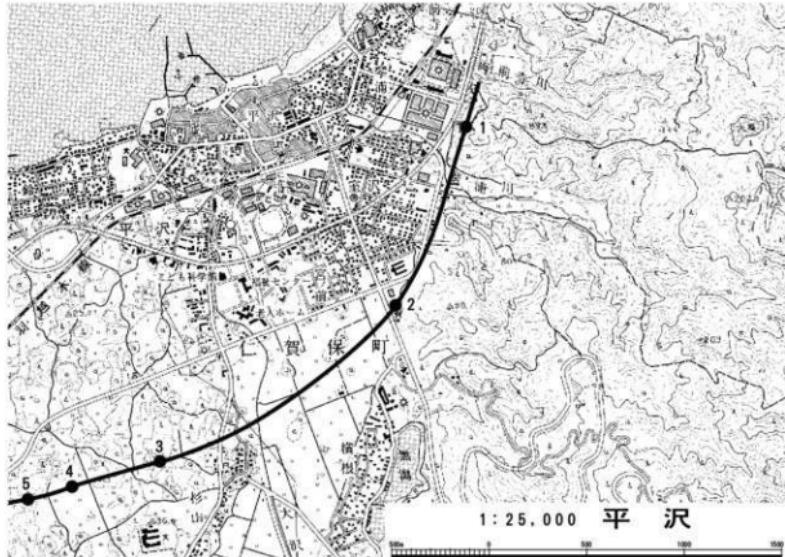
にかほ市の琴浦地区から白雪川東岸に至る事業予定地のうち、両前寺川～琴浦川、清水尻地区、大沢川～白雪川について試掘した。

調査の結果、両前寺川～琴浦川で土師器・須恵器が出土し、土坑・ピットを検出したことから横枕遺跡とし、大沢川～白雪川で石垣と平場で構成される遺構を確認したことから深堀遺跡として、確認調査を実施することとした。清水尻地区的試掘調査は限られた範囲のみであったため、今回の対象地区では遺跡は確認できなかった。

なお、大沢川～白雪川では、周知の遺跡である高寺遺跡と法界寺遺跡についても試掘調査を行った。法界寺遺跡は、対象範囲が遺跡縁辺部のため遺構・遺物は確認できなかった。高寺遺跡では、石垣や平場の構築を確認した。町指定史跡でもあり、工事設計の変更で遺跡を回避することになった。

今後も事業の進捗状況に合わせて試掘等の対応が必要である。

| No | 遺跡名   | 所在地        | 時代    | 現況    | 遺構・遺物          | 備考     |
|----|-------|------------|-------|-------|----------------|--------|
| 1  | 横枕遺跡  | にかほ市平沢字横枕  | 古代    | 畠地・山林 | 土坑・ピット、土師器・須恵器 | 新発見の遺跡 |
| 2  | ・・・   | にかほ市室沢字清水尻 | ・・・   | 水田    | なし             |        |
| 3  | 深堀遺跡  | にかほ市杉山字深堀  | 中世・近世 | 山林    | 土坑・石垣          | 新発見の遺跡 |
| 4  | 高寺遺跡  | にかほ市三森字高寺  | 中世・近世 | 山林    | 土坑・石垣          | 周知の遺跡  |
| 5  | 法界寺遺跡 | にかほ市三森字高寺  | 古代    | 山林    | なし             | 周知の遺跡  |



第10図 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業 遺跡分布調査位置図

## (5)一般国道13号河辺拡幅事業

秋田市和田地区の事業予定地のうち、黒沼下堤下地区について試掘した。

調査の結果、空堀と平場を確認したことから黒沼下堤下館跡として確認調査を実施することとした。今後も事業の進捗状況に合わせて試掘等の対応が必要である。

| No | 遺跡名     | 所在地           | 時代 | 現況  | 遺構・遺物 | 備考     |
|----|---------|---------------|----|-----|-------|--------|
| 1  | 黒沼下堤下館跡 | 秋田市河辺和田字黒沼下堤下 | 中世 | 山林等 | 空堀・郭  | 新発見の遺跡 |
| 2  | ・・・・    | 秋田市河辺和田字黒沼下堤下 | ・・ | 宅地  | なし    |        |



第11図 一般国道13号河辺拡幅事業 遺跡分布調査位置図

## (6)一般国道46号角館バイパス建設事業

仙北市雲然地区の事業予定地のうち、入見内川から月見堂館跡までについて試掘した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。水田利用されているほとんどの範囲で、礫を主体とした約2mの造成を確認した。本来は入見内川の河原と同レベルだったと考えられる。

周知の遺跡である月見堂館跡では、山裾に比較的平坦な地形があり、頂上部ではやせ尾根に段状の平場が認められた。試掘では遺物等確認できなかったが、確認調査が必要と判断した。

| No | 遺跡名   | 所在地         | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考    |
|----|-------|-------------|----|----|-------|-------|
| 1  | ・・・・  | 仙北市角館町雲然字山口 | ・・ | 荒地 | なし    |       |
| 2  | 月見堂館跡 | 仙北市角館町雲然字山口 | 中世 | 山林 | 平場    | 周知の遺跡 |



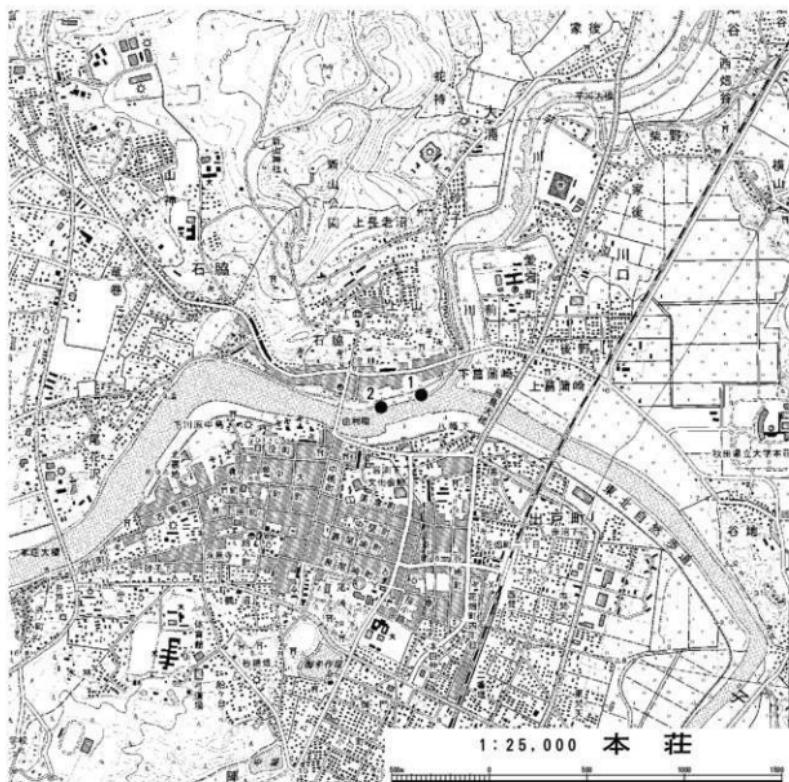
第12図 一般国道46号角館バイパス建設事業 遺跡分布調査位置図

## (7) 石脇地区河道掘削工事

由利本荘市石脇地区の事業予定地で試掘した。

調査の結果、地表面で土師器・須恵器片の散布は認められるが、そのほとんどが耕作土内であるため、今後の調査は必要ないと判断した。周知の遺跡石脇中町遺跡では、耕作土直下から土師器や鉄滓が出土したが、遺物分布が希薄で構造も認められないため、確認調査は必要ないと判断した。

| No | 遺跡名    | 所在地        | 時代  | 現況 | 遺構・遺物  | 備考    |
|----|--------|------------|-----|----|--------|-------|
| 1  | 石脇中町遺跡 | 由利本荘市石脇字石脇 | 縄文他 | 畑地 | 土師器・鉄滓 | 周知の遺跡 |
| 2  | ・・・・   | 由利本荘市石脇字石脇 | ・・  | 畑地 | なし     |       |



第13図 石脇地区河道掘削工事 遺跡分布調査位置図

## (8)一般国道13号院内道路建設事業

事業予定地のうち、起点部の湯沢市上院内八丁地区路線中心杭No335～361と、中間部の下院内田用橋地区路線中心杭No443～464の区間にについて試掘調査を実施した。

起点部は、八丁地区の国道13号接続部、水田部、民有林部と国有林部及び上院内林道から入る椎茸組合有地部とからなる。今年度の調査対象は、(1)八丁地区の13号接続部の一部と水田部、民有林部及び(2)国有林部である。

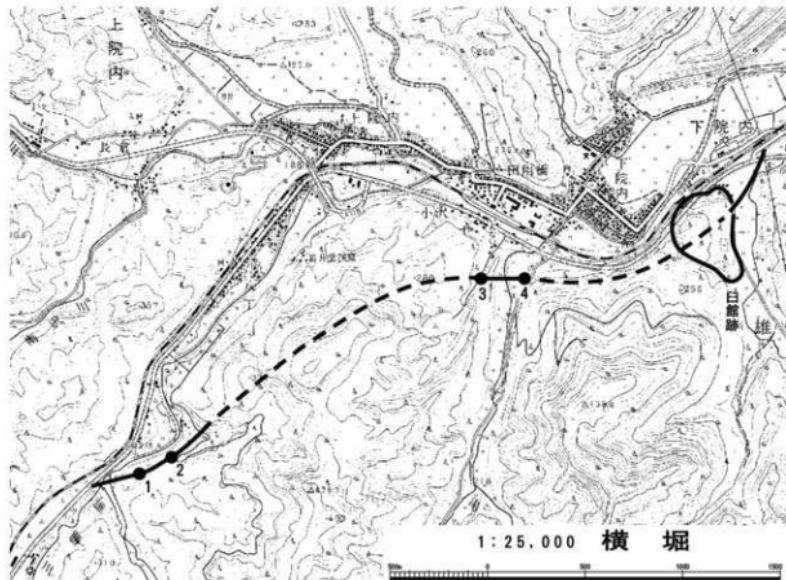
中間部用橋地区は、細い尾根を挟み、西側の(3)院内小沢地区と東側の(4)湯の沢地区に分けられ、院内小沢地区には、工事路線本線の他に工事用道路の対応がある。今年度の調査対象は、両地区的工事路線本線部である。

調査の結果、いずれの地区からも遺物・遺構ともに確認できなかった。

今後も事業の進捗状況に合わせて試掘等の対応が必要である。

また、終点部の白館跡については、今後確認調査等が必要となる。

| No | 遺跡名  | 所在地            | 時代 | 現況     | 遺構・遺物 | 備考 |
|----|------|----------------|----|--------|-------|----|
| 1  | ・・・・ | 湯沢市上院内字八丁地内    | ・・ | 水田・民有林 | なし    |    |
| 2  | ・・・・ | 湯沢市上院内 国有林73林班 | ・・ | 山林     | なし    |    |
| 3  | ・・・・ | 湯沢市下院内字小沢地内    | ・・ | スギ林    | なし    |    |
| 4  | ・・・・ | 湯沢市下院内字湯の沢地内   | ・・ | 旧水田    | なし    |    |



第14図 一般国道13号院内道路建設事業 遺跡分布調査位置図

## (9) 成瀬ダム建設事業

東成瀬村で進められている成瀬ダム建設事業の事業予定地のうち、ダム堤体部に係る(1)成瀬川本流右岸部の牧草地と、(2)成瀬川支流北俣沢川左岸段丘の山林部及び(3)同川右岸段丘の工事用ヤード部と山林部を試掘した。

ダム堤体部に係る成瀬川本流右岸部の牧草地は、現況では平坦な原野で、国道建設時や牧草地造成時の切り土や盛り土と推定される箇所も見られた。調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。

北俣沢川左岸の山林部は、3段の段丘面からなる。土の堆積状況に大きな乱れは無く、遺物・遺構は確認できなかった。

北俣沢川右岸の工事用ヤードは、本来の地表面上に3m以上の盛り土で造成されているため、その周辺部と西側の山林部を試掘調査を実施した。調査の結果、工事用ヤードの周辺部から石器と剝片が表面採集され、試掘坑からは、石組と推定される遺構2基を検出したため、新発見のトクラ遺跡とした。今後、工事用ヤード下及び山林部を含む全遺跡範囲を対象とする確認調査が必要となる。

今後も事業の進捗状況に合わせ、試掘等の対応が必要である。

| No. | 遺跡名   | 所在地          | 時代 | 現況         | 遺構・遺物      | 備考     |
|-----|-------|--------------|----|------------|------------|--------|
| 1   | ・・・・  | 東成瀬村椿川字仁郷地内  | ・・ | 牧草地        | なし         |        |
| 2   | ・・・・  | 東成瀬村椿川字仁郷地内  | ・・ | 山林         | なし         |        |
| 3   | トクラ遺跡 | 東成瀬村椿川字トクラ地内 | 縄文 | 山林・工事用ヤード他 | 石組遺構、土器・石器 | 新発見の遺跡 |



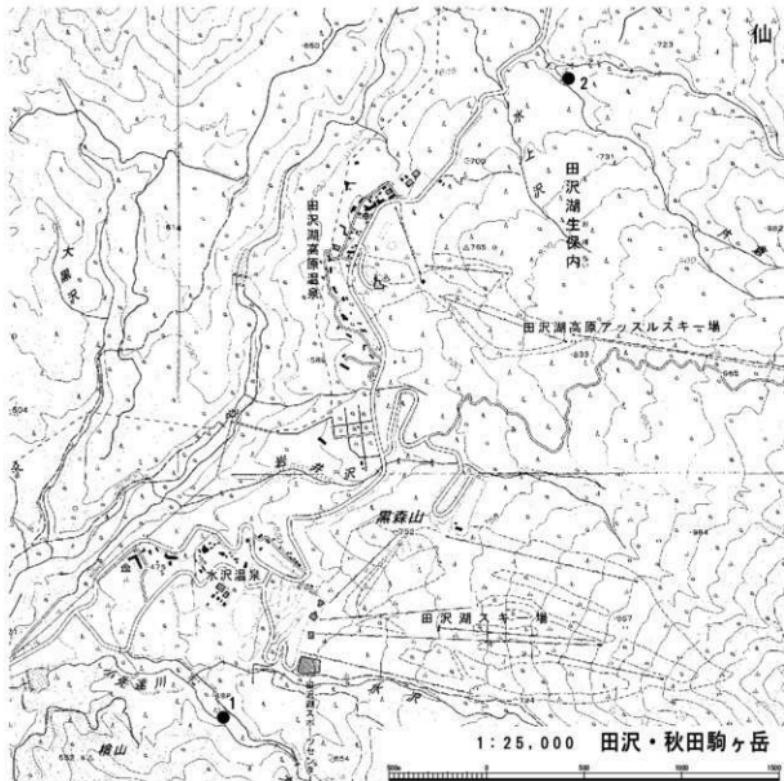
第15図 成瀬ダム建設事業 遺跡分布調査位置図

## (10)砂防ダム建設工事

仙北市駒ヶ岳北麓の事業対象地で踏査を行った。

対象地は狭隘な沢地形で1mを超す岩が点在する状況のため、遺跡の存在する可能性は極めて低いが、狭いながらも平坦な地形も認められることから、試掘調査を実施する必要がある。

| No. | 遺跡名  | 所在地       | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|-----------|----|----|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 仙北市田沢湖生保内 | ・・ | 山林 | なし    |    |
| 2   | ・・・・ | 仙北市田沢湖生保内 | ・・ | 山林 | なし    |    |

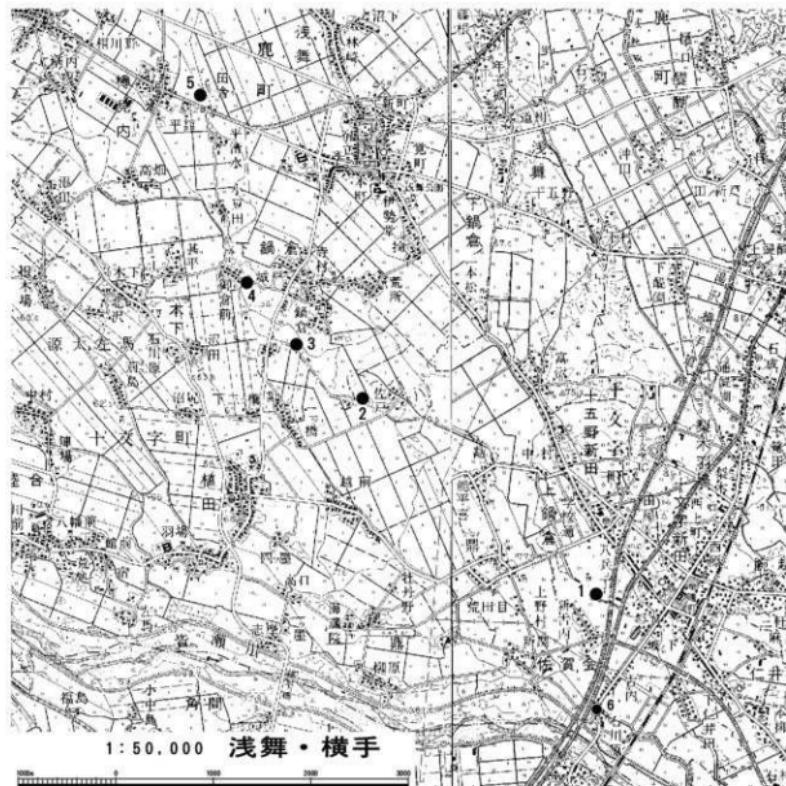


第16図 砂防ダム建設工事 遺跡分布調査位置図

## (11) 平鹿平野（一期・二期）農業水利事業

今年度事業予定地内を踏査した。新発見の遺跡は無いが、事業範囲が下記の6つの周知の遺跡にかかるこを確認した。

| No | 遺跡名      | 所在地            | 時代    | 現況 | 遺構・遺物 | 備考    |
|----|----------|----------------|-------|----|-------|-------|
| 1  | 宝竜堂II遺跡  | 横手市十文字町上鍋倉     | 古代    | 水田 | なし    | 周知の遺跡 |
| 2  | 下雨沼遺跡    | 横手市平鹿町下鍋倉字下雨沼他 | 縄文    | 水田 | なし    | 周知の遺跡 |
| 3  | 境沢田遺跡    | 横手市平鹿町下鍋倉字境沢他  | 縄文・古代 | 水田 | なし    | 周知の遺跡 |
| 4  | 中都遺跡     | 横手市平鹿町下鍋倉字中都   | 縄文    | 水田 | なし    | 周知の遺跡 |
| 5  | 樽見内古館A遺跡 | 横手市平鹿町樽見内字古館   | 縄文    | 水田 | なし    | 周知の遺跡 |
| 6  | 前田城跡     | 横手市十文字町佐賀会字新山前 | 中世    | 宅地 | なし    | 周知の遺跡 |

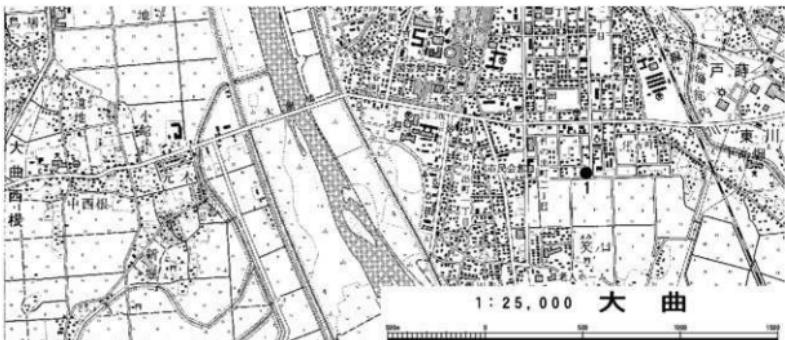


第17図 平鹿平野（一期・二期）農業水利事業 遺跡分布調査位置図

## (12)法務局大曲支局新営工事

大仙市の事業予定地内で試掘した。調査の結果、水田整備の段階で地山まで削平されており、大部分で遺物包含層に相当する堆積土が失われていた。対象区の東隅で土師器片を数点採集したが、耕作土直下出土で摩滅しているため、外部からの流れ込みと判断し、確認調査は必要ないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地     | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|---------|----|----|-------|----|
| 1   | ◆◆◆◆ | 大仙市大曲田町 | ◆◆ | 荒地 | なし    |    |



第18図 法務局大曲支局新営工事 遺跡分布調査位置図

## (13)県単道路改築事業 国道101号

男鹿市脇本地区で道路改良事業が計画されている国道101号について試掘した。

調査の結果、遺構・遺物ともに確認できなかったため、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地     | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|---------|----|----|-------|----|
| 1   | ◆◆◆◆ | 男鹿市脇本脇本 | ◆◆ | 水田 | なし    |    |



第19図 県単道路改築事業 国道101号 遺跡分布調査位置図

## (14)交通安全施設等整備事業 国道105号

大仙市四ツ屋地区で道路改良事業が計画されている国道105号について踏査し、試掘候補地を選定した。今後、事業の進捗に合わせて試掘調査が必要である。

| No | 遺跡名   | 所在地    | 時代 | 現況          | 遺構・遺物 | 備考 |
|----|-------|--------|----|-------------|-------|----|
| 1  | ..... | 大仙市四ツ屋 | .. | 水田・畠地<br>宅地 | なし    |    |

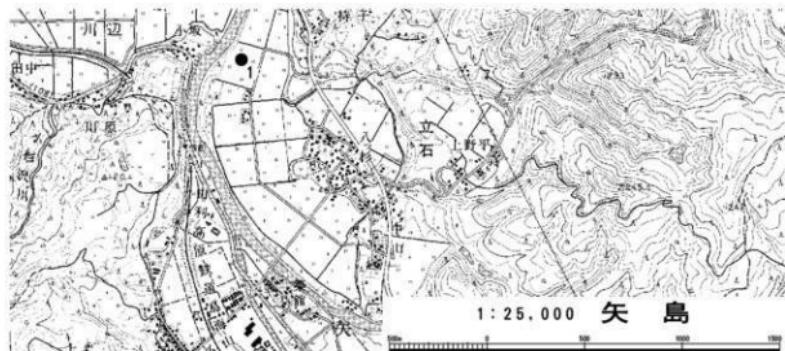


第20図 交通安全施設等整備事業 国道105号 遺跡分布調査位置図

## (15)国道路政改築事業 国道108号

由利本荘市矢島町で道路改良事業が計画されている国道108号について、路線計画範囲を踏査して試掘候補地を選定した。今後、事業の進捗に合わせて試掘調査が必要である。

| No | 遺跡名   | 所在地      | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|----|-------|----------|----|----|-------|----|
| 1  | ..... | 由利本荘市矢島町 | .. | 水田 | なし    |    |

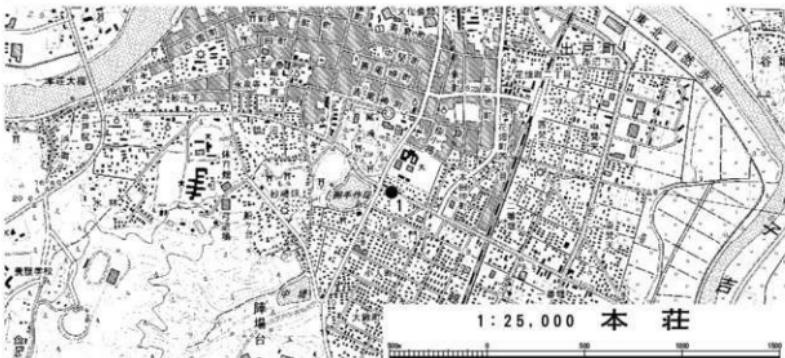


第21図 国道路政改築事業 国道108号 遺跡分布調査位置図

## (16) 国道道路改築事業 国道107号

由利本荘市御門地区で道路改良事業が計画されている国道107号について、路線の一部を試掘した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できなかった。

| No | 遺跡名  | 所在地     | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|----|------|---------|----|----|-------|----|
| 1  | ・・・・ | 由利本荘市御門 | ・・ | 宅地 | なし    |    |

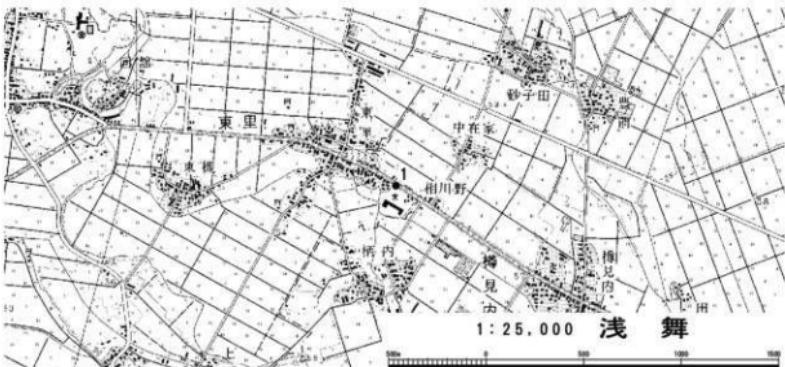


第22図 国道道路改築事業 国道107号 遺跡分布調査位置図

## (17) 交通安全施設等整備事業 国道107号

横手市雄物川町で道路改良事業が計画されている国道107号について、路線全域を踏査し、試掘候補地を選定した。今後、事業の進捗に合わせて試掘調査が必要である。

| No | 遺跡名  | 所在地       | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|----|------|-----------|----|-------|-------|----|
| 1  | ・・・・ | 横手市雄物川町東里 | ・・ | 畑地・宅地 | なし    |    |



第23図 交通安全施設等整備事業 国道107号 遺跡分布調査位置図

## (18)交通安全施設等整備事業 国道282号

鹿角市湯瀬地区で道路改良事業が進められている国道282号について工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、周知の遺跡1か所を確認し、確認調査を実施することとした。

| No. | 遺跡名  | 所在地         | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|-------------|----|-------|-------|----|
| 1   | 湯瀬館跡 | 鹿角市八幡平字湯瀬古館 | 中世 | 畠地・宅地 | 曲輪    |    |



第24図 交通安全施設等整備事業 国道282号 遺跡分布調査位置図

## (19)交通安全施設等整備事業 国道103号

鹿角市で道路改良事業が計画されている国道103号について、路線全域を踏査し、試掘候補地を選定した。今後、事業の進捗に合わせて試掘調査が必要である。

| No. | 遺跡名   | 所在地      | 時代  | 現況       | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|----------|-----|----------|-------|----|
| 1   | ----- | 鹿角市十和田大湯 | • • | 水田・畠地・宅地 | なし    |    |



第25図 交通安全施設等整備事業 国道103号 遺跡分布調査位置図

## (20)地方特定道路整備事業 一般県道富根能代線

能代市真壁地荷八田、真壁地で道路改良事業が計画されている県道富根能代線について、買収済み路線全域を踏査、試掘した。

調査の結果、新発見の遺跡1か所を確認し、確認調査を実施することとした。

| No. | 遺跡名   | 所在地        | 時代 | 現況 | 遺構・遺物   | 備考     |
|-----|-------|------------|----|----|---------|--------|
| 1   | 前谷地遺跡 | 能代市荷八田字前谷地 | 古代 | 水田 | 須恵器・土師器 | 新発見の遺跡 |



第26図 地方特定道路整備事業 一般県道富根能代線 遺跡分布調査位置図

## (21)地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道常盤峰浜線

八峰町大沢地区で道路改良事業が進められている県道常盤峰浜線について工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名   | 所在地   | 時代 | 現況       | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|-------|----|----------|-------|----|
| 1   | ..... | 八峰町大沢 | .. | 水田・畑地・宅地 | なし    |    |



第27図 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道常盤峰浜線 遺跡分布調査位置図

## (22)地方道路整備臨時交付金事業 一般県道白岩角館線

仙北市で道路改良事業が計画されている県道白岩角館線について、路線全域を踏査し、試掘候補地を選定した。今後、事業の進捗に合わせて試掘調査が必要である。

| No. | 遺跡名   | 所在地    | 時代  | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|--------|-----|-------|-------|----|
| 1   | • • • | 仙北市角館町 | • • | 原野・杉林 | なし    |    |



第28図 地方道路整備臨時交付金事業 一般県道白岩角館線 遺跡分布調査位置図

## (23)地方道路整備臨時交付金事業 一般県道野崎十文字線

横手市平鹿町で道路改良事業が計画されている県道野崎十文字線について、買取済み路線全域を踏査、試掘した。

調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名   | 所在地    | 時代  | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|--------|-----|-------|-------|----|
| 1   | • • • | 横手市平鹿町 | • • | 水田・畑地 | なし    |    |



第29図 地方道路整備臨時交付金事業 一般県道野崎十文字線 遺跡分布調査位置図

## (24)地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道比内大葛鹿角線

大館市比内町大葛地区で道路改良事業が進められている県道比内大葛鹿角線について工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名     | 所在地      | 時代  | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|---------|----------|-----|-------|-------|----|
| 1   | • • • • | 大館市比内町大葛 | • • | 原野・畑地 | なし    |    |



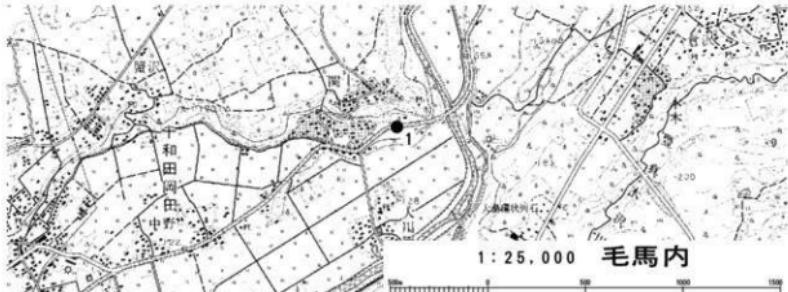
第30図 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道比内大葛鹿角線 遺跡分布調査位置図

## (25)地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道十二所花輪大湯線

鹿角市花輪で道路改良事業が計画されている県道十二所花輪大湯線について、路線全域を踏査し、設計内容を確認した。

調査の結果、周知の遺跡1か所を確認した。今後、事業の進捗に合わせて立会または試掘調査が必要である。

| No. | 遺跡名   | 所在地      | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|----------|----|-------|-------|----|
| 1   | 高市向館跡 | 鹿角市花輪高市向 | 中世 | 道路・宅地 | なし    |    |



第31図 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道十二所花輪大湯線 遺跡分布調査位置図

## (26) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道横手大森大内線

横手市塙堀で道路改良事業が進められて県道横手大森大内線について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地   | 時代 | 現況       | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|-------|----|----------|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 横手市塙堀 | ・・ | 水田・畑地・宅地 | なし    |    |



第32図 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道横手大森大内線 遺跡分布調査位置図

## (27) 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道大曲大森羽後線

大仙市大曲金谷及び元木で道路改良事業が進められている県道大曲大森羽後線について、河川部を除く工事範囲（大曲橋の東西側）について踏査、試掘した。

調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地     | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|---------|----|----|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 大仙市大曲元木 | ・・ | 原野 | なし    |    |
| 2   | ・・・・ | 大仙市大曲金谷 | ・・ | 宅地 | なし    |    |



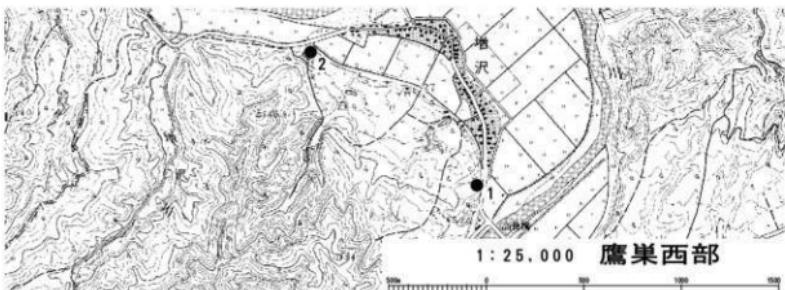
第33図 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道大曲大森羽後線 遺跡分布調査位置図

## (28)地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道二ツ井森吉線

北秋田市増沢で道路改良事業が計画されている県道二ツ井森吉線について、当面の工事範囲である集落西端部・東端部（高長橋側）について踏査、試掘した。

調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No | 遺跡名  | 所在地    | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|----|------|--------|----|-------|-------|----|
| 1  | ・・・・ | 北秋田市増沢 | ・・ | 水田・原野 | なし    |    |
| 2  | ・・・・ | 北秋田市増沢 | ・・ | 畑地    | なし    |    |



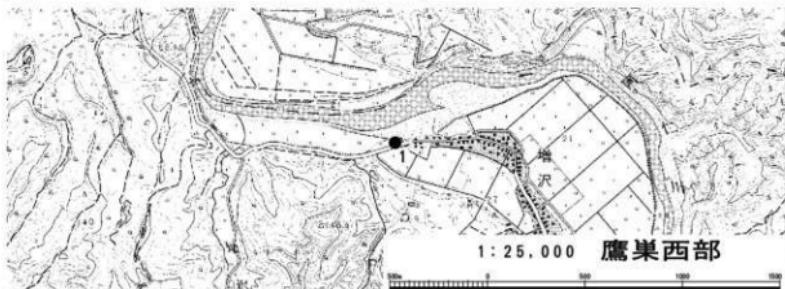
第34図 地方道路整備臨時交付金事業 主要地方道二ツ井森吉線 遺跡分布調査位置図

## (29)河川災害復旧助成事業 阿仁川

北秋田市増沢～五味堀で河川改修事業が計画されている阿仁川について、工事計画範囲を踏査して試掘候補地を2か所（増沢地区・阿仁前田地区）選定し、増沢地区を試掘した。

調査の結果、遺構・遺物とも確認できなかった。今後阿仁前田地区の試掘が必要である。

| No | 遺跡名  | 所在地    | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|----|------|--------|----|-------|-------|----|
| 1  | ・・・・ | 北秋田市増沢 | ・・ | 畑地・宅地 | なし    |    |



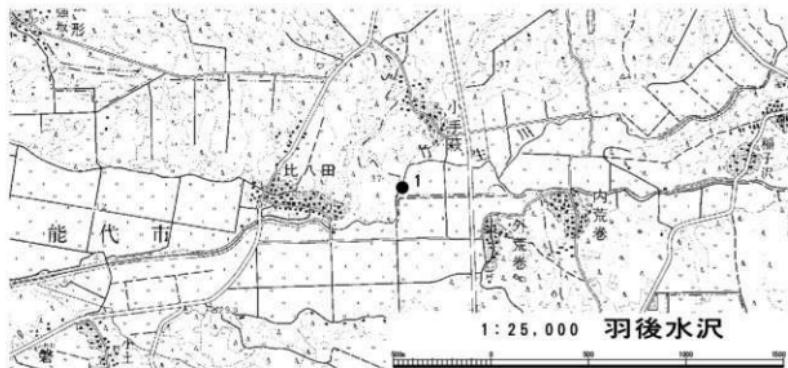
第35図 河川災害復旧助成事業 阿仁川 遺跡分布調査位置図

## (30)総合流域防災事業 竹生川

八峰町小手萩地区で河川改修事業が進められている竹生川について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地    | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|--------|----|-------|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 八峰町小手萩 | ・・ | 河原・原野 | なし    |    |



第36図 総合流域防災事業 竹生川 遺跡分布調査位置図

## (31)広域基幹河川改修事業 淀川

大仙市協和町小種地区で河川改修事業が進められている淀川について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地      | 時代 | 現況       | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|----------|----|----------|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 大仙市協和町小種 | ・・ | 河原・水田・畑地 | なし    |    |



第37図 広域基幹河川改修事業 淀川 遺跡分布調査位置図

## (32) 広域基幹河川改修事業 芦川

由利本荘市岩谷町地区で河川改修事業が進められている芦川について、工事計画範囲を踏査した。調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地      | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|----------|----|-------|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 由利本荘市岩谷町 | ・・ | 河原・原野 | なし    |    |



第38図 広域基幹河川改修事業 芦川 遺跡分布調査位置図

## (33) 総合流域防災事業 土買川

大仙市土川地区で河川改修事業が進められている土買川について、工事計画範囲を踏査した。調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地   | 時代 | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|-------|----|-------|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 大仙市土川 | ・・ | 河原・原野 | なし    |    |



第39図 総合流域防災事業 土買川 遺跡分布調査位置図

## (34)総合流域防災事業 引欠川

大館市比内町本宮区で河川改修事業が進められている引欠川について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名     | 所在地      | 時代  | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|---------|----------|-----|-------|-------|----|
| 1   | • • • • | 大館市比内町本宮 | • • | 河原・原野 | なし    |    |



第40図 総合流域防災事業 引欠川 遺跡分布調査位置図

## (35)広域基幹河川改修事業 草生津川

秋田市外旭川・將軍野地区で河川改修事業が進められている草生津川について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名     | 所在地        | 時代  | 現況    | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|---------|------------|-----|-------|-------|----|
| 1   | • • • • | 秋田市外旭川・將軍野 | • • | 河原・原野 | なし    |    |



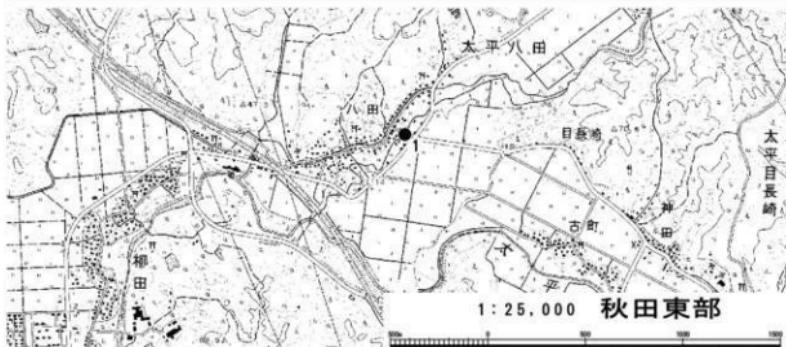
第41図 広域基幹河川改修事業 草生津川 遺跡分布調査位置図

## (36) 広域基幹河川改修事業 八田川

秋田市太平八田地区で河川改修事業が進められている八田川について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、今年度工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名  | 所在地     | 時代 | 現況       | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|---------|----|----------|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 秋田市太平八田 | ・・ | 河原・原野・宅地 | なし    |    |

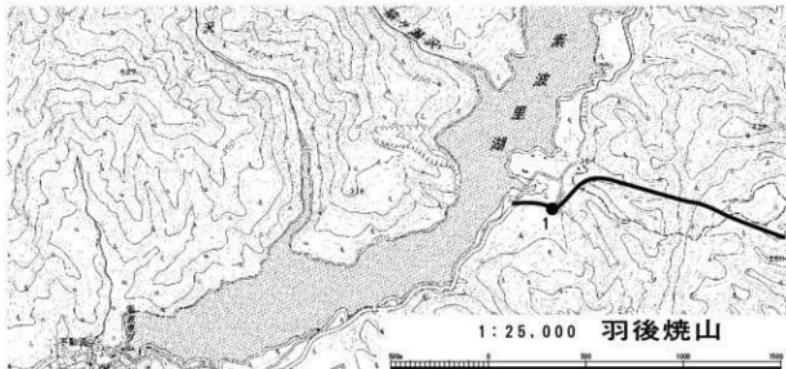


第42図 広域基幹河川改修事業 八田川 遺跡分布調査位置図

## (37) 米代線(フォレスト・コミュニティー事業)

藤里町内の事業地内を踏査し、素波里ダム東岸付近の試掘候補地を選定した。今後試掘調査を行う必要がある。

| No. | 遺跡名  | 所在地        | 時代 | 現況  | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|------|------------|----|-----|-------|----|
| 1   | ・・・・ | 藤里町柏毛字南鹿瀬内 | ・・ | 山林等 | なし    |    |



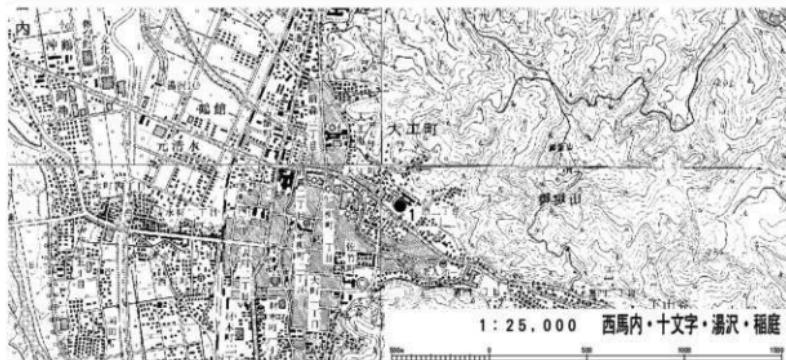
第43図 米代線(フォレスト・コミュニティー事業) 遺跡分布調査位置図

## (38)(仮称)湯沢統合高校建設事業

湯沢市で統合高校建設が計画されている湯沢北高校敷地について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、工事範囲については、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名   | 所在地    | 時代 | 現況 | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|--------|----|----|-------|----|
| 1   | ・・・・・ | 湯沢市湯ノ原 | ・・ | 宅地 | なし    |    |



第44図 (仮称)湯沢統合高校建設事業 遺跡分布調査位置図

## (39)能代警察署改築事業

能代市で庁舎改築が計画されている能代警察署について、工事計画範囲を踏査した。

調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

| No. | 遺跡名   | 所在地        | 時代 | 現況       | 遺構・遺物 | 備考 |
|-----|-------|------------|----|----------|-------|----|
| 1   | ・・・・・ | 潟上市昭和豊川字船橋 | ・・ | 水田・畑地・宅地 | なし    |    |



第45図 能代警察署改築事業 遺跡分布調査位置図

## 第2節 遺跡確認調査

### (1)一般国道7号鷹巣大館道路建設事業

#### ①大沢倉下遺跡

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| 1 遺跡所在地     | 秋田県北秋田市栄字大沢倉下34-18   |
| 2 確認調査期間    | 平成20年11月4日～14日       |
| 3 確認調査対象面積  | 6,000 m <sup>2</sup> |
| 4 工事区域内遺跡面積 | 1,700 m <sup>2</sup> |
| 5 遺跡の立地と現況  |                      |
| a 立地        |                      |

遺跡はJR鷹巣駅から東へ約6km、米代川の支流である大沢川左岸の台地縁辺部、北西側斜面に位置する。下流方向約350mの対岸には折戸遺跡が位置する。標高は100～122mであり、斜面最上部にはわずかに平坦面が存在する。調査対象区ほぼ中央部は尾根状の地形となり、比較的傾斜が緩やかである。

#### b 現況

杉を主体とする山林であったが、伐採済みである。

#### 6 確認調査の方法

調査は地形を考慮し、平坦面や尾根、比較的傾斜の緩やかな斜面地を中心に幅1mのトレンチを合計18本設定した。堆積土が薄いこと、地形的な制約等から掘削は全て人力で行い、地山漸移層あるいは地山面に達した時点で精査し、遺構の確認に努めた。遺構についてはその確認状況を写真により記録し、必要に応じて半截やサブトレンチの掘削を行った。遺物は出土地点と層位を記録して取り上げた。確認調査における実質調査面積は258m<sup>2</sup>で、確認調査対象面積の約4%に相当する。

#### 7 確認調査の結果

##### a 層序

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 第I層 黒色土(10Y R2/2)             | 表土 層厚10～30cm          |
| 第II層 黒褐色土(10Y R2/3)           | 層厚10～25cm             |
| 第III層 黒～黒褐色土(10Y R2/1～2/2)    | 層厚15～40cm             |
| 第IV層 にぶい黄褐～暗褐色土(10Y R4/3～3/4) | 漸移層 層厚10～15cm (遺構確認面) |
| 第V層 褐色土(10Y R4/4)             | 地山 (遺構確認面)            |

平坦面及び尾根では堆積土は薄く、I層の直下に地山あるいは漸移層が露出する。第5・第12トレンチのような斜面部にのみII・III層の堆積が確認され、特に斜面下方に向かって厚く堆積する。

##### b 検出遺構と出土遺物

遺構は焼土面及び炭化物層を伴う炭窯と推定される土坑2基と、直径0.7～1.2m、深さ50cm前後の円形土坑5基をIV層上面及び地山面で検出した。遺構内から遺物は出土しなかった。明確な遺構集中区は存在せず、これら遺構は平坦面及び尾根上のやや傾斜の緩やかな地点に点在していた。

遺物は、第8トレンチから縄文時代の土器片10点、第12トレンチから縄文時代の翡翠製の玉1点、第16トレンチから剥片石器1点が出土した。第8トレンチの土器片は尾根上の1地点から集中的に出

土している。石器・石製品は斜面部からの出土である。

## 8 所見

### a 遺跡の種類

縄文時代の遺跡で、小規模な集落の一部であると推定される。また、出土遺物には翡翠製の玉が含まれることから、遺跡内に墓域が形成されていた可能性も考えられる。遺構の分布密度が薄いこと、出土遺物が極めて少ないとからその利用期間は比較的短かったものと推察される。遺跡の時期については、出土遺物から縄文時代後～晩期の可能性が考えられる。

炭窯 2 基については、時期等詳細は不明である。

### b 遺跡の範囲と工事区域

工事区域内の遺跡の範囲は、遺構が主に分布する丘陵上部平坦面・尾根・斜面中腹の比較的傾斜が緩やかな地区が中心となる。確認調査範囲西側の沢地形となる部分では、明確な遺構や捨て場は確認されなかった。第12トレンチから翡翠製の玉が出土していることから、この出土地点周辺の詳細な調査が必要と考え、これを含めた範囲を本発掘調査対象の範囲と判断した。

### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

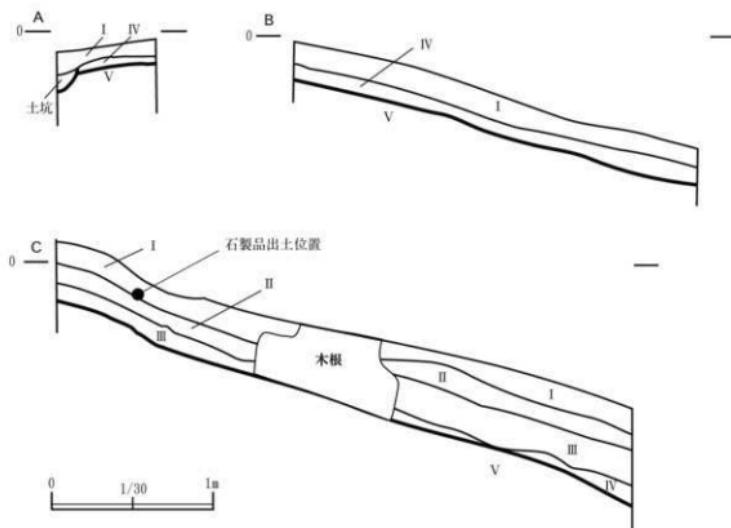
遺構は縄文時代の土坑・柱穴様ピット、古代以降の構築と推定される炭窯などが検出されると考えられる。遺物は縄文土器、石器などの出土が予想されるが、出土量は極めて少ないとと思われる。



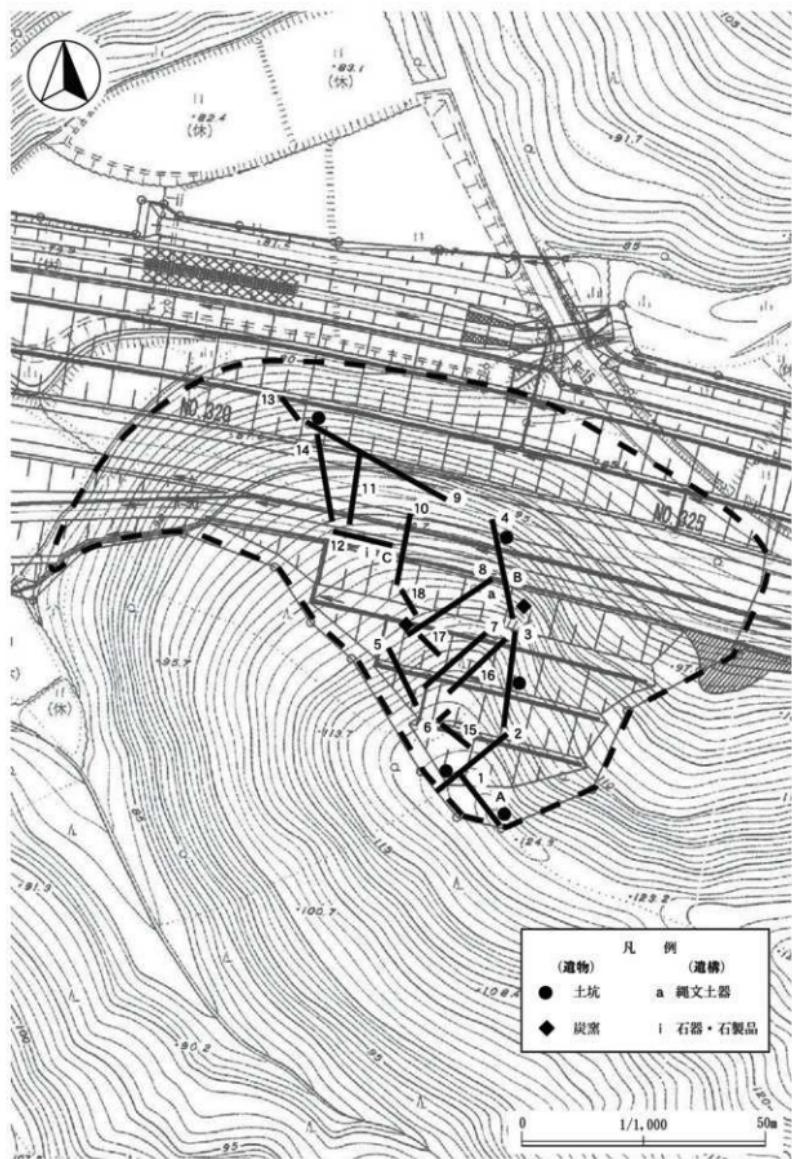
第46図 大沢倉下遺跡位置図



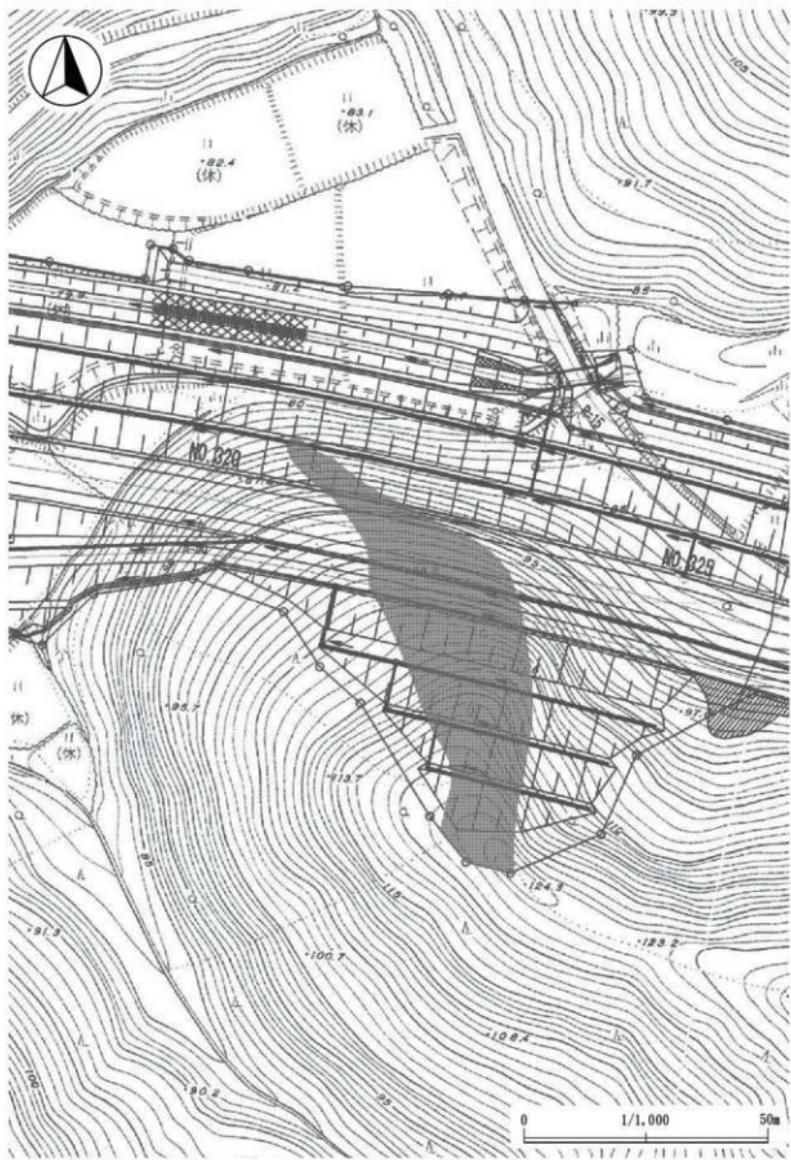
第47図 大沢倉下遺跡推定範囲図



第48図 大沢倉下遺跡基本層序図



第49図 大沢倉下遺跡確認調査結果図



第50図 大沢倉下遺跡要本発掘調査範囲図

大沢倉下遺跡

遺跡全景

立木の伐採が行われて  
いる範囲(西から)



大沢倉下遺跡

第8トレンチ

炭窯確認状況  
(北西から)



大沢倉下遺跡

第12トレンチ

翡翠製玉出土状況  
(南西から)



**②折戸遺跡**

- 1 遺跡所在地 秋田県北秋田市栄字折戸 8-2 他  
 2 確認調査期間 平成20年11月4日～14日  
 3 確認調査対象面積 3,500m<sup>2</sup>  
 4 工事区域内遺跡面積 500m<sup>2</sup>  
 5 遺跡の立地と現況  
 a 立地

遺跡はJ R鷹巣駅から東へ約6km、米代川の支流である大沢川右岸の南西方向に舌状に延びる丘陵先端部に立地する。標高約80～98mの馬の背状の地形で、斜面の緩急はあるが平坦面を持たない。遺跡の東約350mの大沢川左岸には大沢倉下遺跡が存在する。

**b 現況**

杉を主体とする山林であったが、伐採済みである。

**6 確認調査の方法**

調査は地形を考慮し、尾根沿いに第1・第4トレーナーを、これと直行する方向に第2・第3トレーナーを設定した。台地先端部では等高線に直交する方向に第5・第6トレーナーを設定した。トレーナーはいずれも幅1mとした。堆積土が薄いことや地形的な制約から掘削は全て人力で行い、地表面に達した時点で精査し、遺構の検出に努めた。遺構については、その確認状況を写真で記録し、必要に応じて半截やサブトレーナーの掘削を行った。遺物は出土地点と層位を記録して取り上げた。

確認調査による実質調査面積は72m<sup>2</sup>で、確認調査対象面積の約2%に相当する。

**7 確認調査の結果****a 層序**

- 第I層 黒褐色土(10Y R2/3) 表土 層厚5～10cm  
 第II層 暗褐色土(10Y R3/3) 層厚5～30cm  
 第III層 褐色土(10Y R4/4～4/6) 層厚5～15cm  
 第IV層 地山 (遺構確認面) 斜面上部から下部へ次のa～cの順に変化する  
 a 褐色土(10Y R4/4) 混土礫屑  
 b 明赤褐色～褐色土(5Y R5/8～7.5Y R4/4)  
 c にぶい黄褐色土(10Y R5/4)

調査区全域にI層、II層が薄く堆積する。台地縁辺の斜面部ではII層がやや厚く堆積するほか、III層の堆積が確認できる。

**b 検出遺構と出土遺物**

遺構は直径0.7m、深さ約25cmの比較的小形の円形土坑1基と、直径1.2～1.7mの比較的大形の円形土坑6基の合計7基を確認した。大形の円形土坑については一部にサブトレーナーを設定し、深さが70cmを超えることを確認した。

分布調査では縄文時代の剥片石器1点が採集されていたが、今回の確認調査では遺物は出土しなかった。

## 8 所見

### a 遺跡の種類

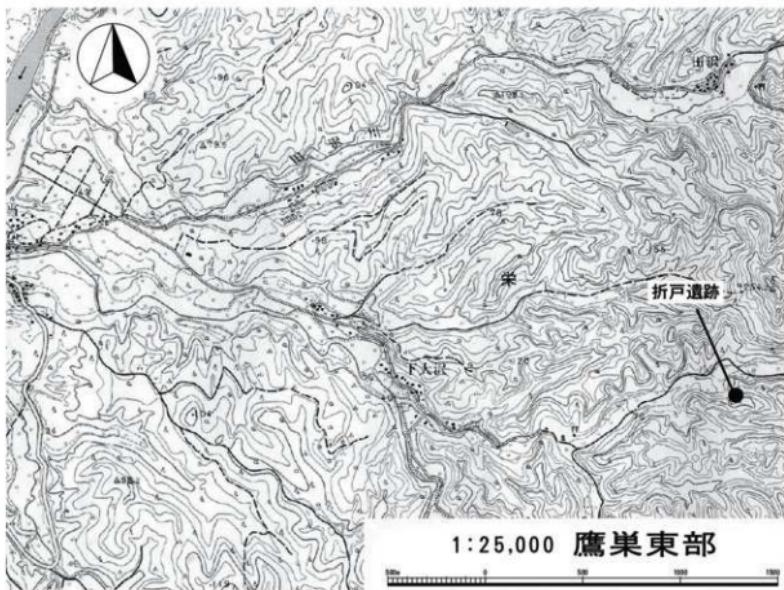
縄文時代の遺跡で、小規模な集落と推定される。

### b 遺跡の範囲と工事区域

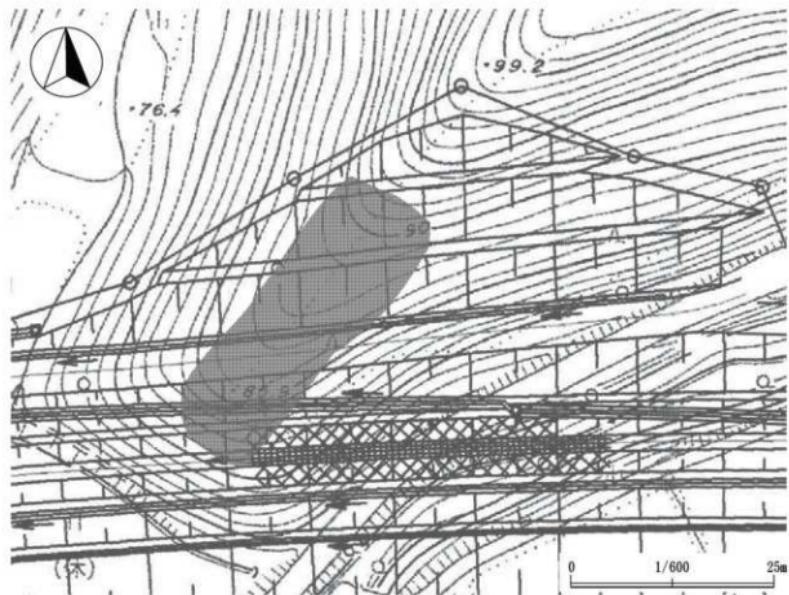
工事区域内の遺跡の範囲は、比較的傾斜が緩やかな台地先端部の尾根を中心とした幅約10mの範囲である。

### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

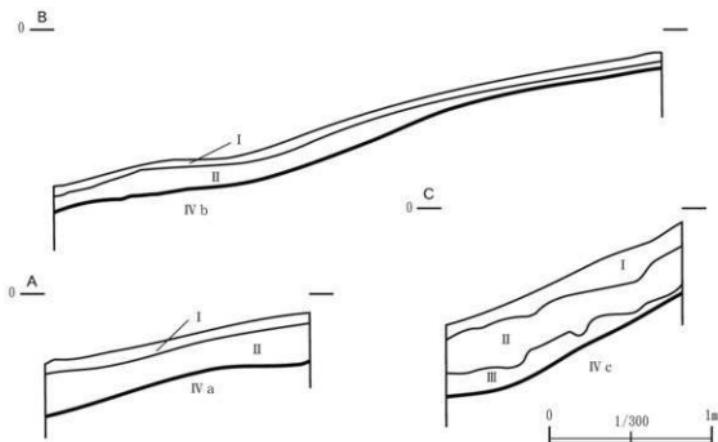
遺構は縄文時代の土坑、フラスコ状土坑、柱穴様ピットなどの検出が予想され、遺物は縄文土器・石器などが出土すると考えられるが出土量は極めて少ないと想われる。



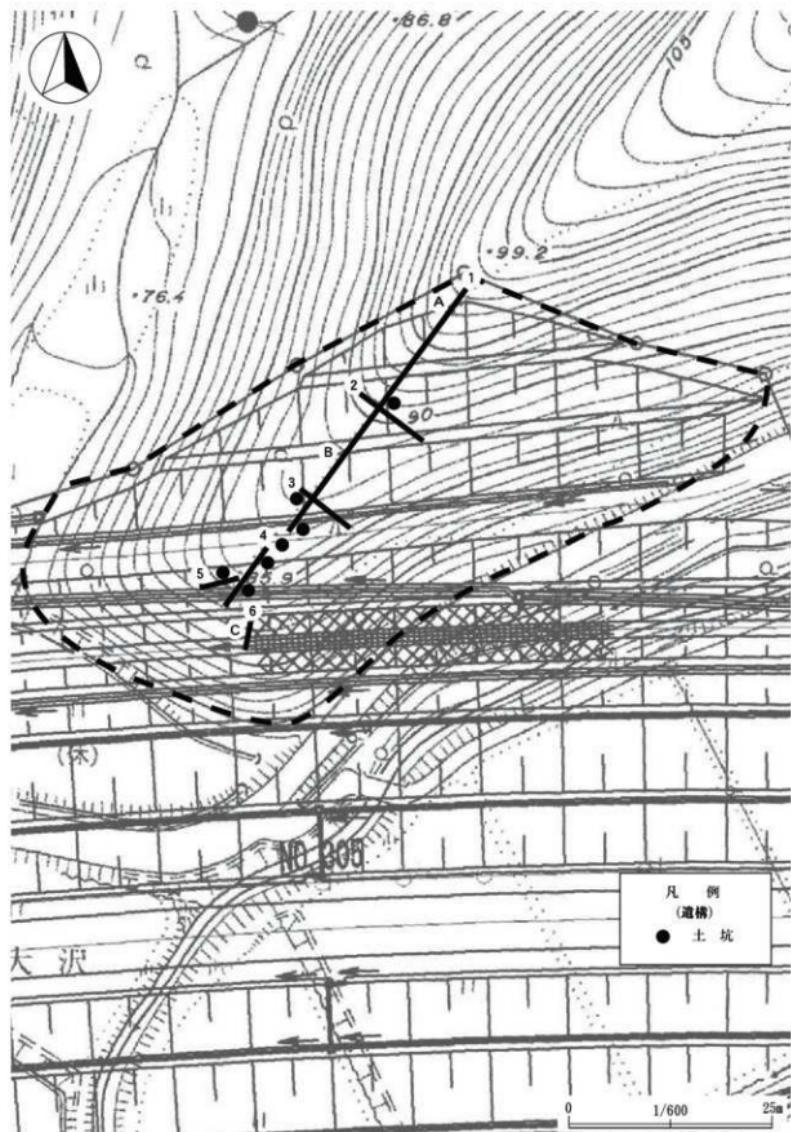
第51図 折戸遺跡位置図



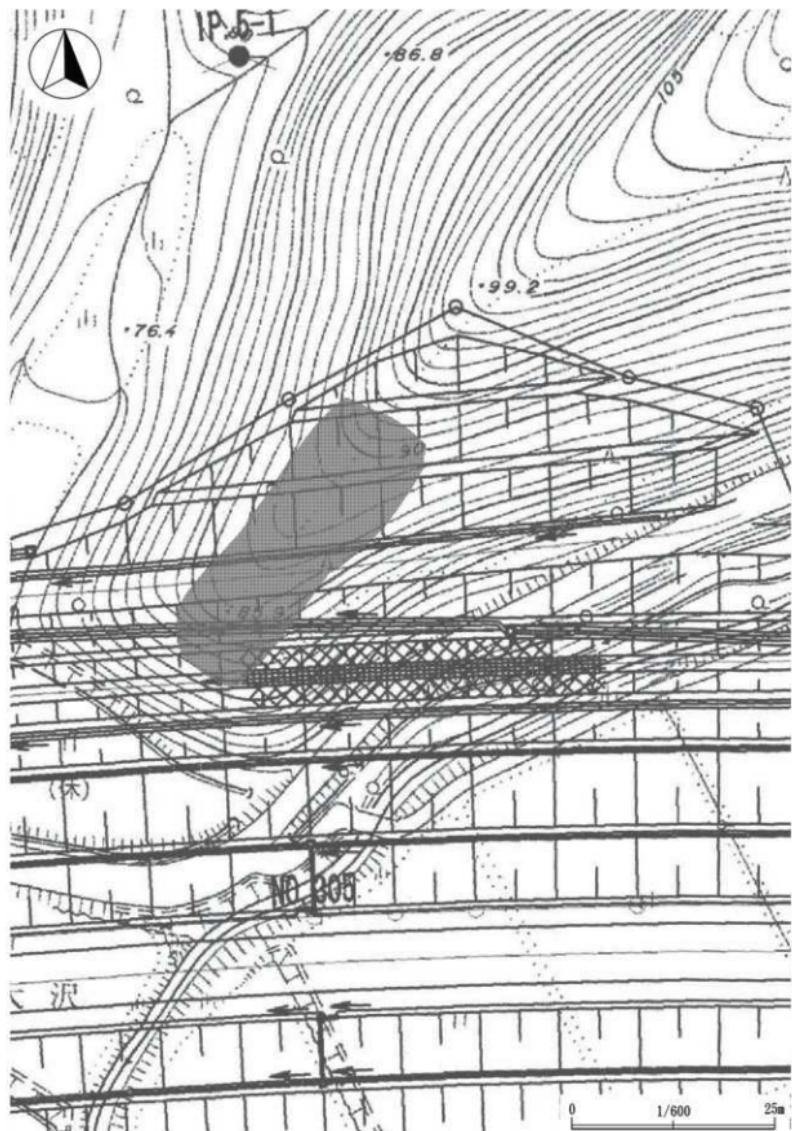
第52図 折戸遺跡推定範囲図



第53図 折戸遺跡基本層序図



第54図 折戸遺跡確認調査結果図



第55図 折戸遺跡要本発掘調査範囲図

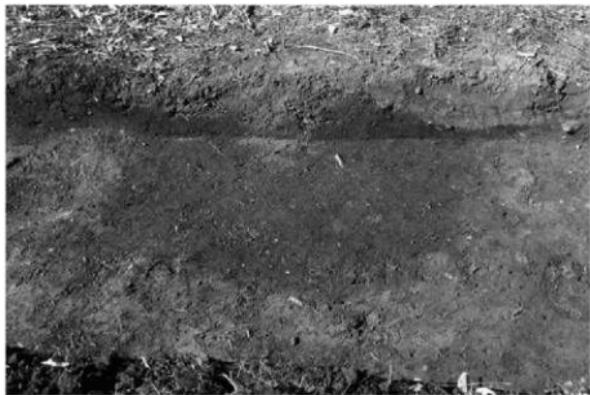
折戸遺跡  
遺跡遠景  
立木の伐採が行われて  
いる範囲(西から)



折戸遺跡  
第1トレント調査状況  
(南西から)



折戸遺跡  
第4トレント  
土坑確認状況(東から)



## (2)交通安全設備等整備事業 国道282号

## ①湯瀬館跡

- 1 遺跡所在地 鹿角市八幡平字湯瀬古館62他  
 2 確認調査期間 平成20年10月20日～10月24日  
 3 確認調査対象面積 10,000m<sup>2</sup>  
 4 工事区域内遺跡面積 7,300m<sup>2</sup>  
 5 遺跡の立地と現況  
 a 立地

遺跡はJR花輪線湯瀬駅の北西400m、南北に急峻な山が迫る湯瀬集落（いわゆる湯瀬温泉郷）の北側、五ノ宮獄の山裾に形成された独立台地に位置する。昭和54年に東北縦貫自動車道建設に伴い発掘調査が行われ、台地上面では13～16世紀代の郭が確認されている。今回は郭が確認された台地の南斜面を対象とした。台地上からの比高は約15～30mである。

## b 現況

調査範囲には15面前後の平坦面が造成され、宅地・畑地・道路として使用されていた。調査時点では宅地の移転が進んでいたが、数軒の家屋が調査範囲に残されていた。

## 6 確認調査の方法

トレントは平坦面ごとに1～5本、計32本を設定した。東側の7本（第26～32トレント）は重機により、他は人力で掘削した。トレントの幅は基本的に1mである。斜面は基盤層が軟弱であるため掘削していない。必要に応じて平面面を精査し、地山もしくはその下30cm前後まで掘り下げた。遺構は確認状況を写真で記録し、半截した。位置は平面図に記録した。遺物は出土トレントと層位を記録して取り上げた。確認調査における実質調査面積は160m<sup>2</sup>で、確認調査対象面積の約1.6%に相当する。

## 7 確認調査の結果

## a 層序

各トレントの土層観察から、遺跡の基本層序は次の通りである。

- 第I層 黒褐～褐灰色土（10Y R3/1～4/1）。表土・耕作土・造成土。層厚10～100cm。  
 第II層 黒褐～灰黃褐色土（10Y R2/2～4/2）。上位からの二次堆積土。層厚20～140cm。  
 第III層 黒～黒褐色土（10Y R1.7/1～3/1）。古代～中世の包含層。土器出土。層厚20～100cm。  
 第IV層 明黄褐～灰黃色土（10Y R5/4～2, 5Y 6/1）。十和田a火山灰堆積層。層厚10～55cm。  
 第V層 黒褐～灰黃褐色土（10Y R3/2～4/2）。繩文時代の包含層。繩文土器出土。層厚30cm。  
 第VI層 黄灰～明褐色土（2, 5Y 6/1～7, 5Y R5/6）。地山。火山灰由来土。  
 第VII層 にぶい黄褐～にぶい褐色土（10Y R6/3～2, 5Y 7/2）。地山。角礫混じり。火碎流堆植物。  
 第VIII層 黒色土。グライ化。粘土と礫混じり流入土。柱材出土。  
 第IX層 青灰色土。グライ化。粘土と礫混じり。地山。

調査区東側ではI層の直下に地山が検出される。II層は調査区西側から中央にかけて、III層は第1・2・4・6・17・18・21トレントなどの地形が落ち込む箇所に確認できる。IV・V・VII・IX層は東側の埋没沢にのみ確認できる層である。地山は調査区西側～中央でVI層、東側はVII層である。なお西端ではVI層の下にVII層が確認できる。

### b 検出遺構と出土遺物

遺構は高低差約150cmの切岸1か所、幅約30cmの溝状遺構2条、直径30cm前後、深さ30cm前後の円形平面の柱穴3基を検出した。溝状遺構2条は地すべりなどに起因する自然地形の可能性もある。切岸などの造成痕跡を除いていずれも確認面は地面上である。また東側の埋没沢IV層では土師器が出土しており、遺構が掘り込まれている可能性もあるため、上面で遺構の有無を確認する必要がある。

遺物は第17トレンチV層から縄文時代後期の土器片1点、第22トレンチI層から縄文時代後期の注口土器1点、第18トレンチIII層から土師器片5点、第29トレンチIV層から柱材1点が出土した。遺物は注口土器を除いてすべて埋没沢からの出土である。II層は館本体が位置する上位からの流入土であることから、遺物が混入している可能性があり、留意する必要がある。

### 8 所見

#### a 遺跡の種類

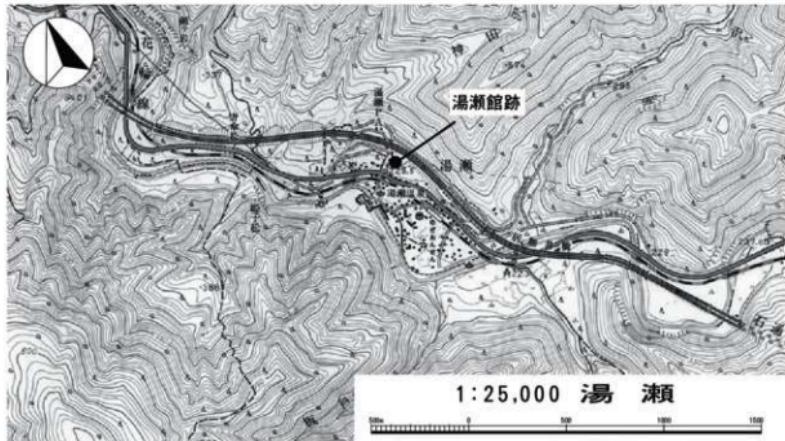
調査区西側から中央は中世の館跡であり、東側は縄文時代から中世の遺物を包含する埋没沢である。

#### b 遺跡の範囲と工事区域

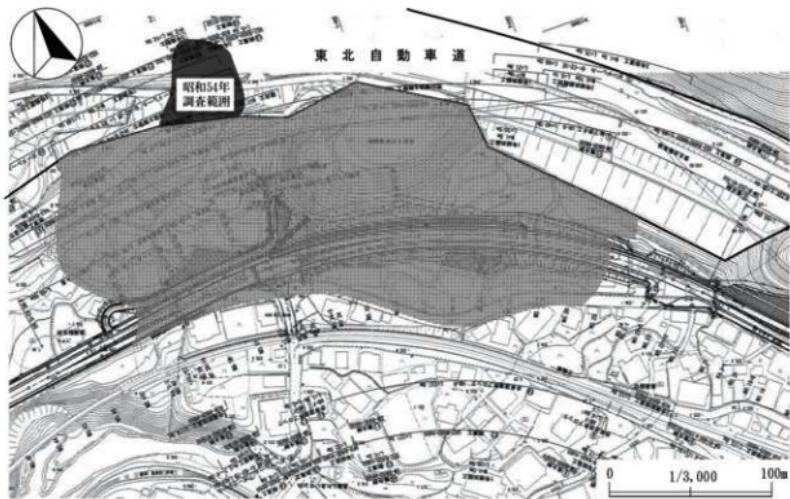
工事区域内西端から中央は湯瀬館跡の柵張範囲内と考えられるが、西端および中央南側は近代以降の削平が激しいため調査対象から除外した。東側には埋没沢があり遺物が出土したが、そのうち柱材は沢に流入したものと考えられ、原位置を留めていないと判断されることから、本調査必要範囲は縄文土器が出土した平坦面までとした。本調査必要範囲は7,300m<sup>2</sup>である。

#### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

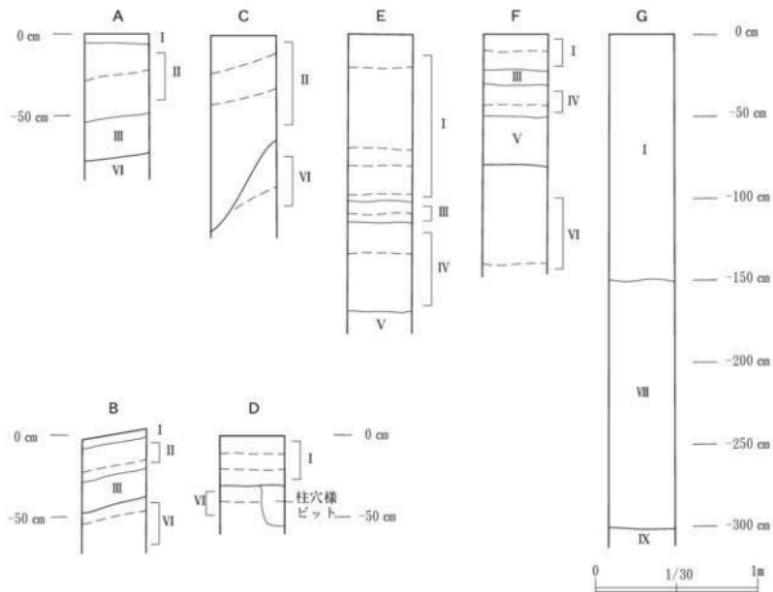
遺構は、調査区中央で中世の館跡に伴う切岸、掘立柱建物跡など、東側で埋没沢の検出が予想される。遺物は陶磁器・かわらけ・土師器・縄文土器の出土が予想される。遺跡中央付近では館跡に伴う遺構が一定数検出されると思われるが、遺物は少ないと予想される。調査区東側では埋没沢が位置するため遺構は著しく少ないと想われるが、遺物は一定量出土すると予想される。



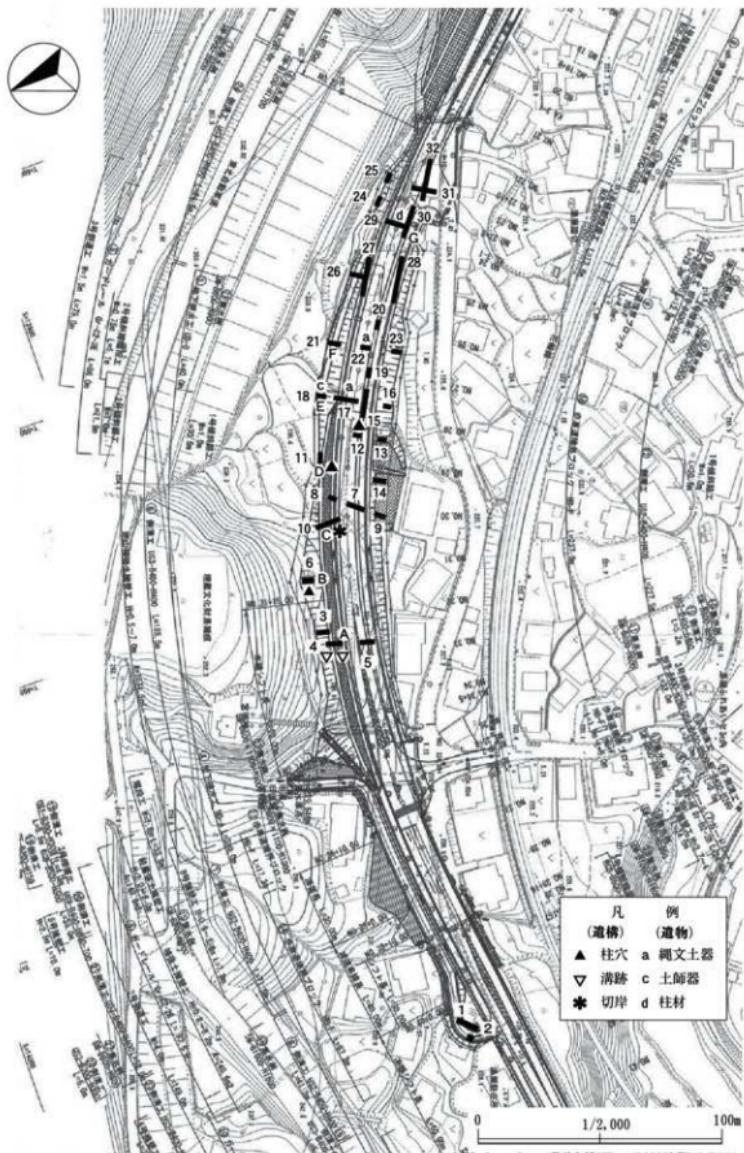
第56図 湯瀬館跡位置図



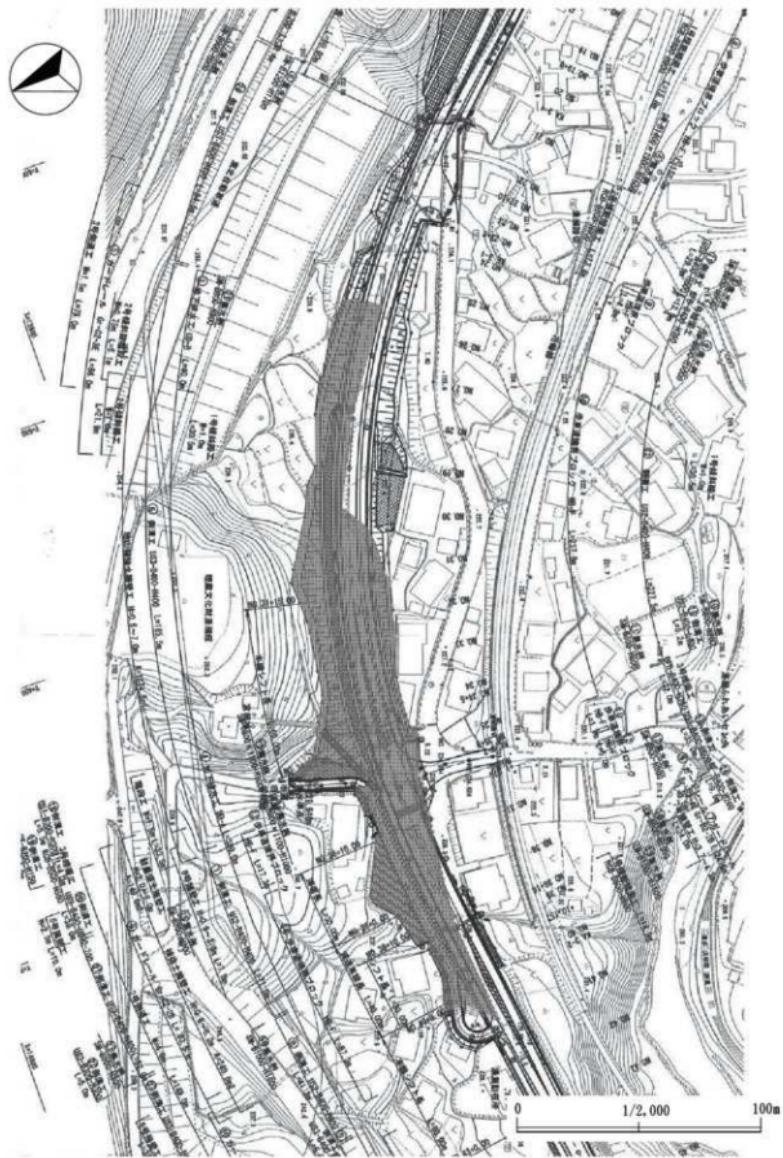
第57図 湯瀬館跡推定範囲図



第58図 湯瀬館跡基本層序図



第59図 湯瀬館跡確認調査結果図



第60図 湯瀬館跡要本発掘調査範囲図

湯瀬館跡  
第10トレンチ  
切岸断面(南西から)



湯瀬館跡  
第11トレンチ  
柱穴様ピット検出状況  
(南から)



湯瀬館跡  
第17トレンチ  
埋没沢断面(東から)



## (3)一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業

## ①上谷地I遺跡

- 1 遺跡所在地 にかほ市平沢字上谷地73外  
 2 確認調査期間 平成20年10月27日～11月7日  
 3 確認調査対象面積 14,350 m<sup>2</sup>  
 4 工事区域内遺跡面積 14,350 m<sup>2</sup>（要本発掘調査面積0 m<sup>2</sup>）  
 5 遺跡の立地と現況  
 a 立地

遺跡は羽越本線仁賀保駅より南東1kmの標高11.4～12.5mの沖積地に位置する。遺跡の北側には国道7号線が東西に走り、日本海の汀線までは1.5kmである。東側は鴻ノ巣館跡がある丘陵地が迫り、丘陵は南西へ延び鳥海山に達する。周囲には紀元前5世紀の鳥海山の噴火によりできた岩石による標高18～19mの小高い丘が随所に見られる。

## b 現況

周辺は水田で、調査対象地は休耕田になっている。

## 6 確認調査の方法

調査は休耕田の形を基準にし、残存している畦に沿うように南東から北西に向け9本のトレントとそれに直交する5本のトレントの計14本のトレントを設定した。

トレントの幅は約2mで、重機で掘り下げた後、床面及びトレント壁面を精査し、造構・遺物の有無を確認した。トレント内で出土した遺物については、位置と層位を記録して取り上げるとともに、写真撮影をおこなった。

確認調査における試掘面積は662m<sup>2</sup>であり、調査対象面積の4.6%に相当する。

## 7 確認調査の結果

## a 層序

各トレントの土層觀察から、遺跡の基本層序は次の通りである。

- 第I層 黒褐色土（10Y R2/3）。耕作土。層厚12～40cm。  
 第II層 黒褐色土（10Y R3/2）。遺物包含層。層厚10～40cm。  
 第III a層 褐灰色砂（10Y R5/1）。層厚10～15cm。  
 第III b層 暗緑灰砂（5B G3/1）。層厚15～60cm。  
 第III c層 褐灰色砂（10Y R5/1）。層厚10～15cm  
 第III d層 青灰色粘土（10Y R5/1）。層厚2cm。  
 第IV a層 黒色砂～粘土（10Y R1/1）。泥炭層。遺物包含層。層厚10～30cm。  
 第IV b層 褐灰色砂（10Y R5/1）。層厚30cm。  
 第IV c層 黒褐色砂～粘土（10Y R2/3）。泥炭層。層厚10～40cm。  
 第IV d層 褐灰色砂（10Y R5/1）。層厚10～25cm。  
 第V層 青灰色粘土（5B G5/1）。地山。

第II層は、調査区の旧地形が微高地であった部分に集中している。第III層及び第IV層は、調査範囲がかつて湿地帯であったことを証明する。遺物は、第II層及び第IV a層の下位部から須恵器片や土師

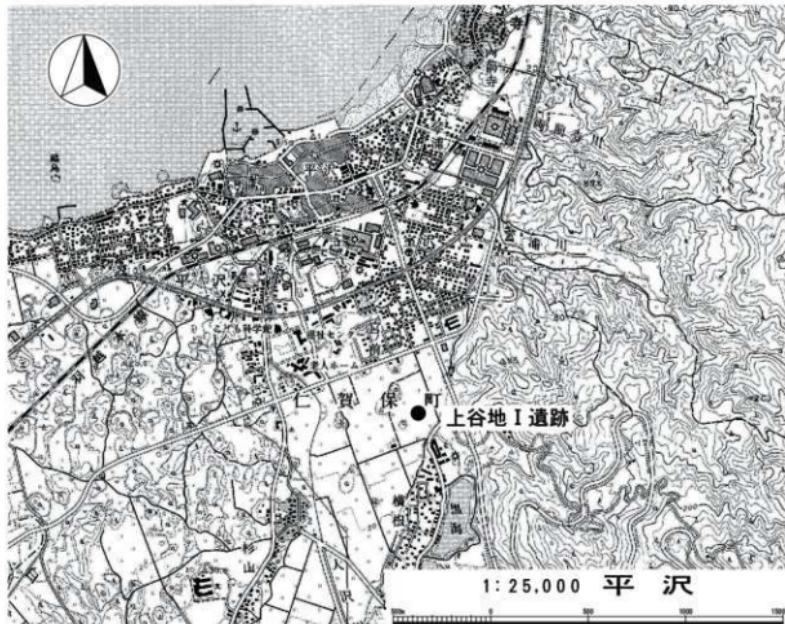
器片が出土している。

b 検出遺構と出土遺物

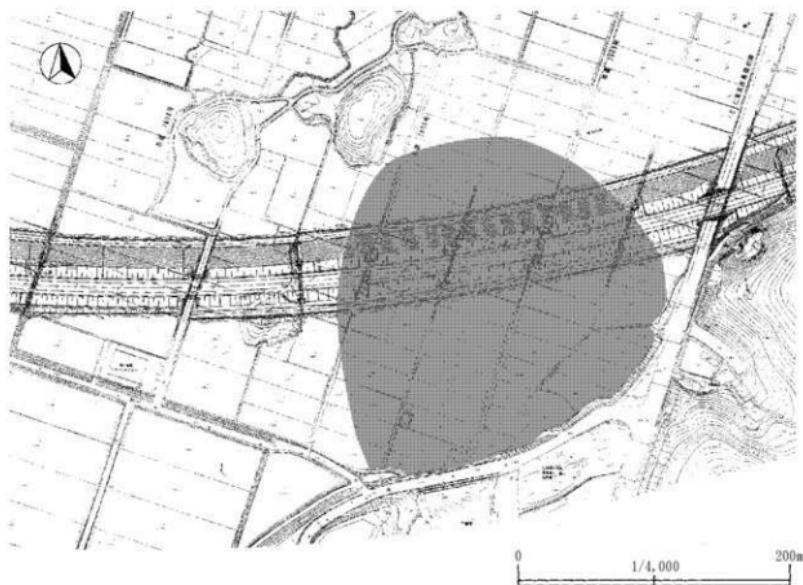
遺構は確認できなかった。遺物は平安時代の須恵器や土師器の他、木製品の櫛1点が出土している。これらの遺物はそのほとんどが第4・7トレンチに集中している。

8 所見

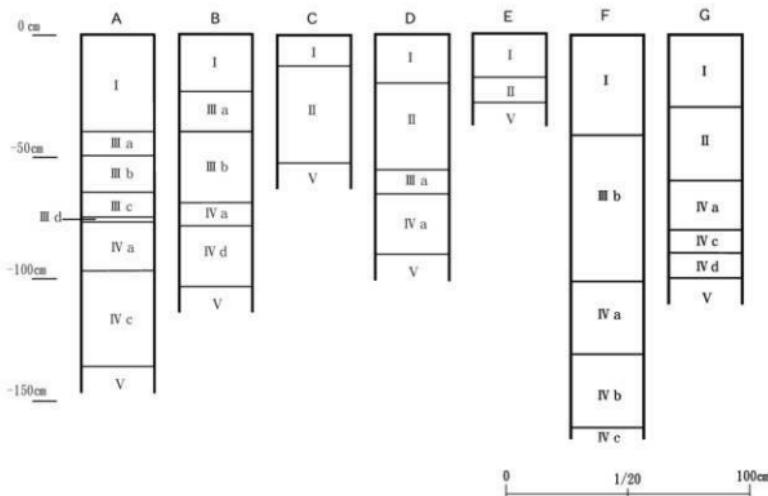
遺構は検出されず、出土した遺物も旧地形が微高地であった場所から落ち込んでいる場所に堆積した泥炭層下部から出土していることから、他所から流れてきたものと判断した。またトレンチの土層観察により、調査区は河川跡や沼沢地跡であったことが確認された。したがって、工事区域内での発掘調査の必要性はないと判断した。



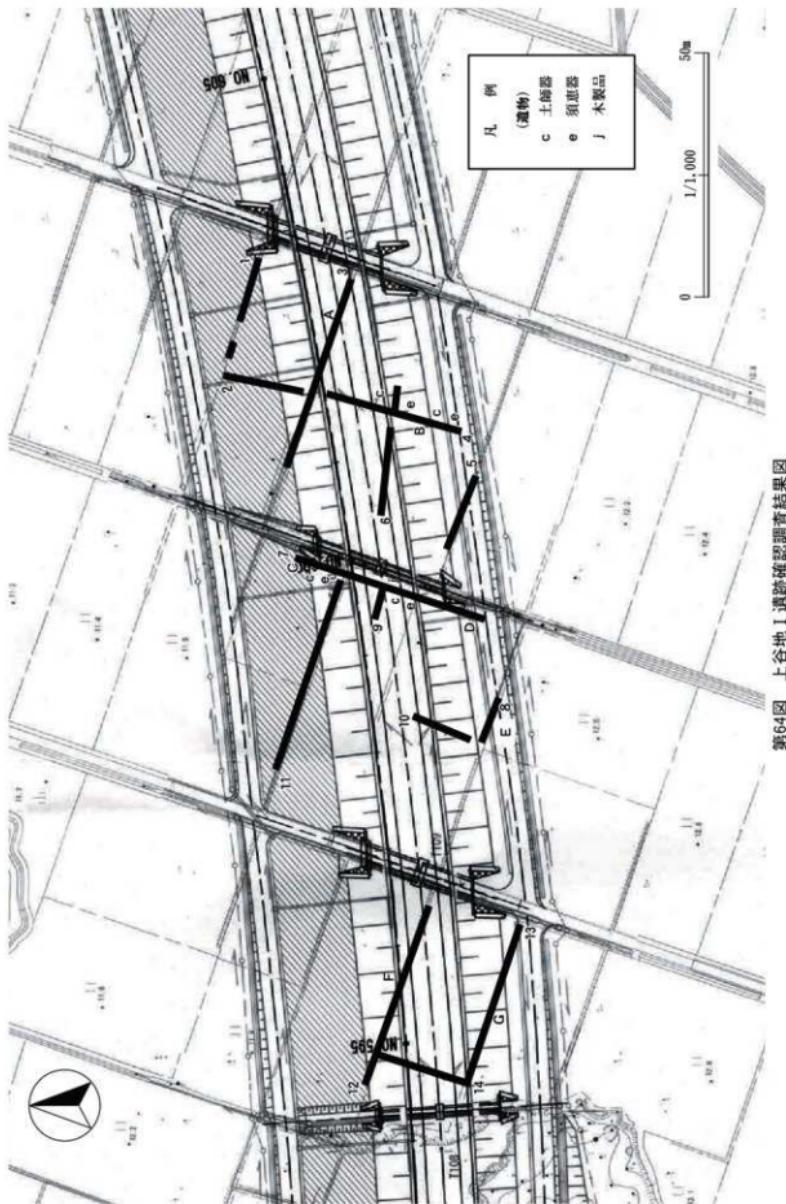
第61図 上谷地I遺跡位置図



第62図 上谷地Ⅰ遺跡推定範囲図



第63図 上谷地Ⅰ遺跡基本層序図



第64図 上谷地 I 遺跡確認調査結果図



上谷地Ⅰ遺跡  
確認調査前全景  
(西から)



上谷地Ⅰ遺跡  
第7トレンチ  
須恵器・土師器片  
出土状況（東から）



上谷地Ⅰ遺跡  
第12トレンチ(西から)

## ②上谷地Ⅱ遺跡

- 1 遺跡所在地 にかほ市平沢字上谷地103外  
 2 確認調査期間 平成20年10月27日～11月7日  
 3 確認調査対象面積 8,850m<sup>2</sup>  
 4 工事区域内遺跡面積 8,850m<sup>2</sup>（要本発掘調査面積2,950m<sup>2</sup>）  
 5 遺跡の立地と現況  
 a 立地

遺跡は羽越本線仁賀保駅より南東1kmの標高13.1～13.4mの低湿地に位置する。遺跡の北側には国道7号線が東西に走り、日本海の汀線までは1.5kmである。東側は鴻ノ巣館跡がある丘陵地が迫り、丘陵は南西へ延び鳥海山に達する。周囲には紀元前5世紀の鳥海山の噴火によりできた岩石による標高18～20mの小高い丘が隨所に見られる。

## b 現況

水田であり、調査対象地は休耕田になっている。

## 6 確認調査の方法

調査は休耕田の形を基準にし、残存している畦に沿うように南東から北西に向け9本のトレンチとそれに直交する2本のトレンチの計11本のトレンチを設定した。

トレンチの幅は約2mで、重機で掘り下げた後、確認面及びトレンチ壁面を精査し、遺構・遺物の有無を確認した。トレンチ内で出土した遺物については、位置と層位を記録して取り上げるとともに、遺構プランは実測・写真撮影を行った。

確認調査における試掘面積は602m<sup>2</sup>であり、調査対象面積の6.8%に相当する。

## 7 確認調査の結果

## a 層序

各トレンチの土層観察から、遺跡の基本層序は次の通りである。

第I層 黒褐色土（10YR2/3）。耕作土。層厚15～20cm。

第IIa層 褐灰色土（10YR4/1）。IIc層の酸化。層厚20～35cm。

第IIb層 青灰色砂（5BG5/1）。部分的な堆積。層厚5cm。

第IIc層 黒褐色土（10YR3/2）。遺物包含層及び古代の生活面。層厚10～25cm。下位部に部分的に巨岩を含む。

第III層 青灰色粘土（5BG5/1）。地山。古代の遺構確認面。

第II層は、調査区の旧地形が微高地であった部分に集中し、IIc層からは須恵器片や土師器片が出土している。遺構は第III層上面よりIIc層を覆土として確認できるが、遺構の掘り込みが浅いことから、実際の生活面はIIc層であると思われる。

## b 検出遺構と出土遺物

遺構と遺物は調査対象区の中央より南側の微高地で確認した。検出した遺構の種類と数は、溝跡1条・柱穴様ビット14基である。第6トレンチでは幅35cm、深さ12cmの溝が南北に走り、第3・5トレンチでは柱穴様ビットをトレンチ底面及び壁面で確認している。

遺物は、平安時代の須恵器や土師器が出土しており、溝跡の覆土はIIc層を覆土とし、多数の須恵

器片や土師器片を伴っていることから、同様の覆土を持つ柱穴様ピットも平安時代の遺構であると判断した。また第7トレンチからは、微高地西側の低地から木製品が出土しており、周辺に土師器や須恵器が散在していることから、これらの遺物も同時代のものであると判断した。

### 8 所見

#### a 遺跡の種類

須恵器や土師器の年代及び柱穴様ピットの検出から、平安時代の集落跡と推定される。

#### b 遺跡の範囲と工事区域

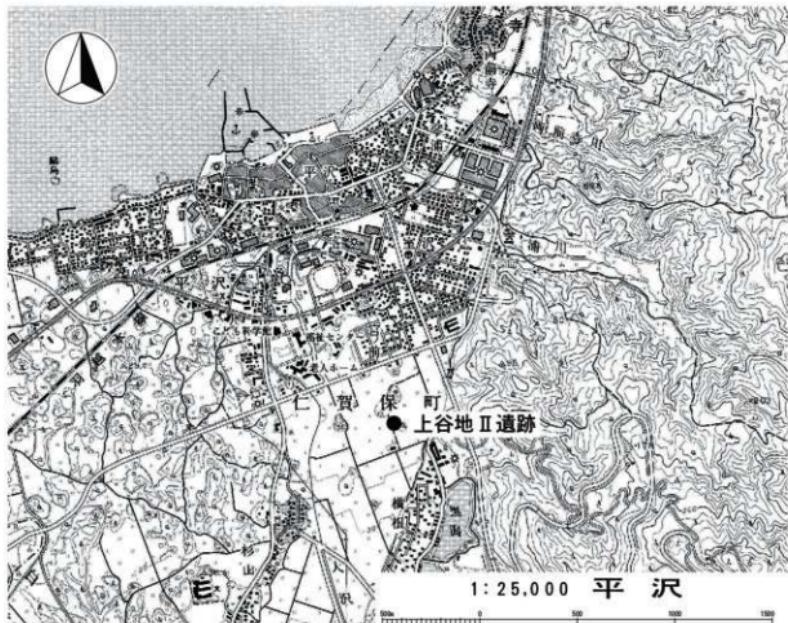
工事区域内で発掘調査が必要な範囲は、調査対象区南側の旧地形が微高地で遺物の出土が見られる2,950m<sup>2</sup>である。

上記地区の北側及び東側は遺物・遺構が共に確認されないことから、発掘調査の対象範囲から除外した。

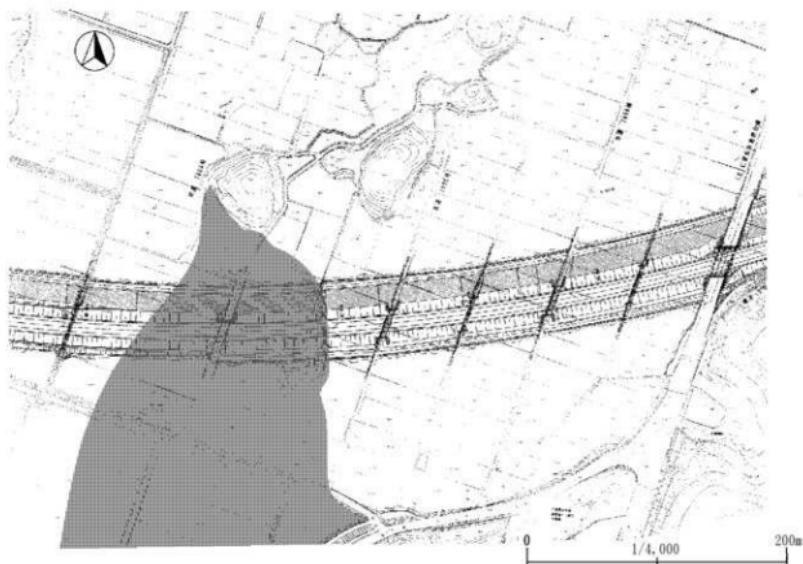
#### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

遺構は、平安時代の溝跡・土坑・柱穴様ピットなどが検出されると考えられる。

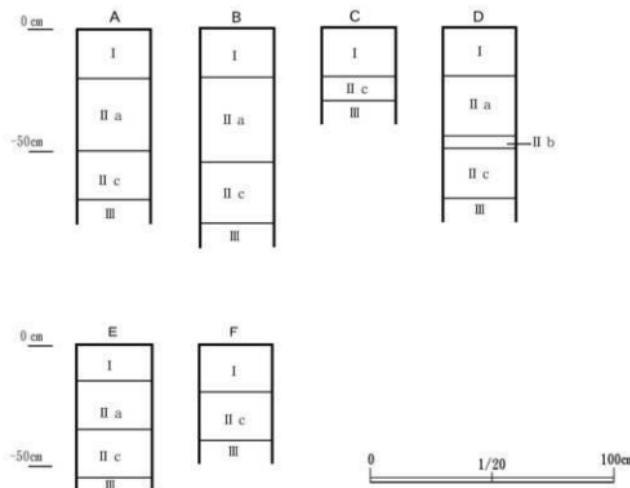
遺物は、平安時代の須恵器・土師器・木製品が中コンテナで15箱程度出土すると思われる。



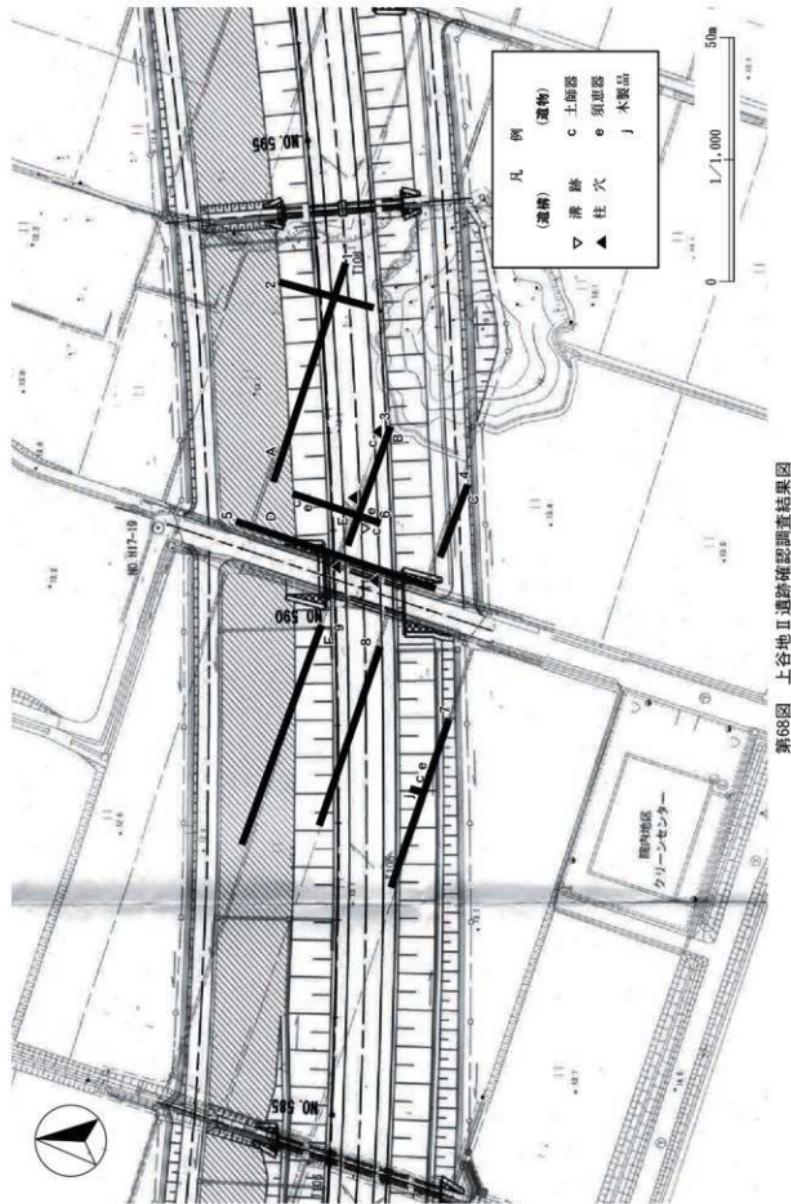
第65図 上谷地II遺跡位置図



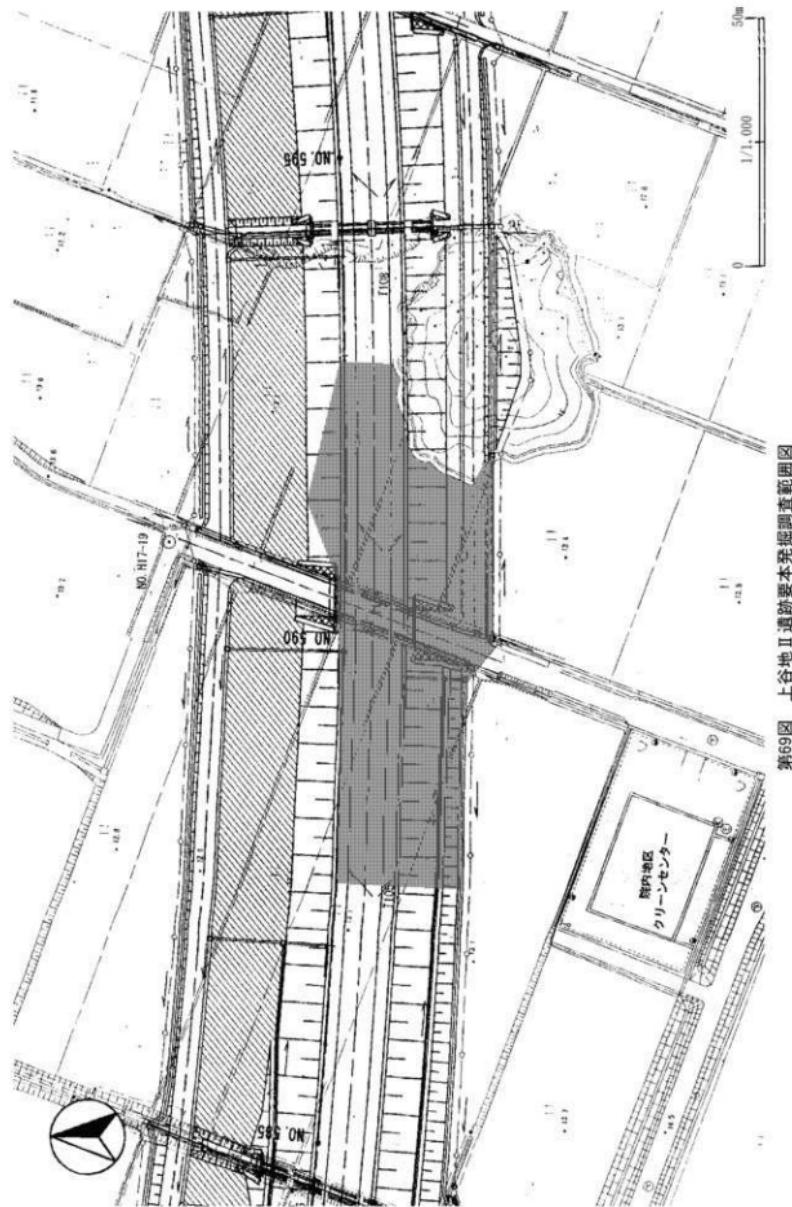
第66図 上谷地II遺跡推定範囲図



第67図 上谷地II遺跡基本層序図



第68図 上谷地II遺跡確認調査結果図



第69図 上谷地II道路要本発掘調査範囲図



上谷地Ⅱ遺跡  
確認調査後全景  
(西から)



上谷地Ⅱ遺跡  
第6トレンチ  
溝跡検出状況(南から)



上谷地Ⅱ遺跡  
第7トレンチ  
木製品出土状況  
(北から)

## (4) 地方特定道路整備事業 一般県道富根能代線

## ① 前谷地遺跡

- 1 遺跡所在地 能代市荷八田字前谷地206番外  
 2 確認調査期間 平成20年10月6日～10月17日  
 3 確認調査対象面積 13,700m<sup>2</sup>  
 4 工事区域内遺跡面積 2,250m<sup>2</sup>  
 5 遺跡の立地と現況  
 a 立地

本遺跡はJR奥羽本線東能代駅より米代川を挟み北へ2.4kmに位置し、標高7～8mの水田地帯に立地する。確認調査区域の北側には水田が広がり、南側の一部には民家が隣接する。

遺跡の北に隣接して中世城館の塞ノ神遺跡、北西約1kmには平安時代と縄文時代の複合遺跡である真壁地遺跡がある。

## b 現況

遺跡のほとんどが水田であるが調査対象地は休耕田となっており、水田との境には畦が全域に盛られている。遺跡の東区域の中を南北に幅員4.5mの農道が2本通り、西区域との境に幅員5mの舗装道路がある。

## 6 確認調査の方法

調査は調査区内の路線のカーブに添う形で路線方向東西に20本、それに直交する方向に2本のトレチを設定した。トレチの幅は約1.8mで、重機または人力で掘り下げた後、確認面及びトレチ壁面を精査し、遺構・遺物の有無を確認した。トレチ内で出土した遺物については、位置と層位を記録して取り上げ、遺構プランは実測・写真撮影を行った。

実質調査面積は910m<sup>2</sup>で調査対象面積の6.7%にあたる。

## 7 確認調査の結果

## a 層序

- 第I層 黒褐色土(10Y R3/2) 表土・耕作土 層厚15～30cm  
 第II層 黒褐色土(10Y R3/2) 耕作土 炭化物(C・Dでは火山灰粒)を含む 層厚20～40cm  
 第III層 黒色土(10Y R1.7/1) 盛土 第6トレチに見られる耕作土 層厚0～50cm  
 第IV層 黒色粘土(10Y R3/1) 火山灰粒を含む 層厚0～20cm  
 第V層 黒色土(10Y R2/1) 泥炭 植物遺体含む 層厚10～25cm  
 第VI層 黒褐色土(10Y R4/3) 泥炭 自然木、植物遺体を多量に含む 層厚10～30cm  
 第VII層 黒褐色粘土(10Y R3/1) 泥炭中に筋状に堆積した土 層厚0～30cm  
 第VIII層 暗灰色粘土(10Y R4/1) 酸化鉄粒含む地山  
 第IX層 緑灰色粘土(10G 5/1) 深い部分に見られる地山

I～III層は耕作土である。水田造成時の削平をうけ古代の表土および遺物包含層は残っていない。IV～VII層は調査区の東部の湿地、中央部の旧河川跡に堆積したものである。本調査対象となる第4・5トレチ部分は、30cm程の表土・耕作土の直下が地山となる。

### b 検出遺構と出土遺物

検出した遺構は土坑2基、溝跡3条、柱穴様ピット2基、性格不明遺構1基である。全て第4・5トレンチで検出した。遺構はⅦ層地山上面で確認されるが残存状態は極めて悪く、覆土が2~10cmと極端に浅く底部しか残っていない。遺跡全体が上位を削平されたものと思われ、本調査にあたっては慎重に精査を進める必要がある。

遺物は須恵器を中心に、土師器、近世陶磁器、剥片石器が出土した。

### 8 所見

#### a 遺跡の種類

須恵器や土師器の年代から、平安時代の集落跡の一部と推定される。

#### b 遺跡の範囲と工事区域

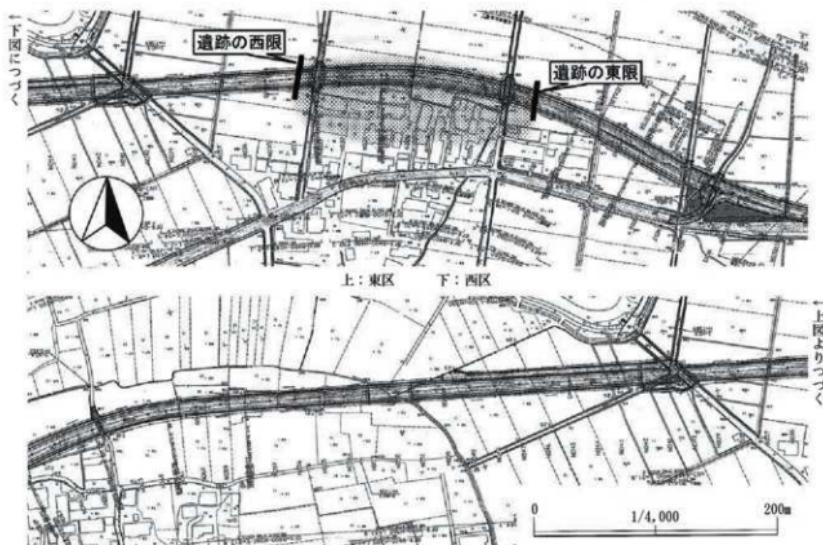
工事区域内の遺跡範囲は、遺構・遺物が確認された東区域の2本の農道に挟まれた2,250m<sup>2</sup>である。上記以外の地区は、土層や周囲の地形から旧米代川の本流、支流、残存沼、中州等の状態で、古くから人が居住できる環境ではなかったと推測され、遺構も確認されなかったので発掘調査の対象範囲から除外した。

#### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

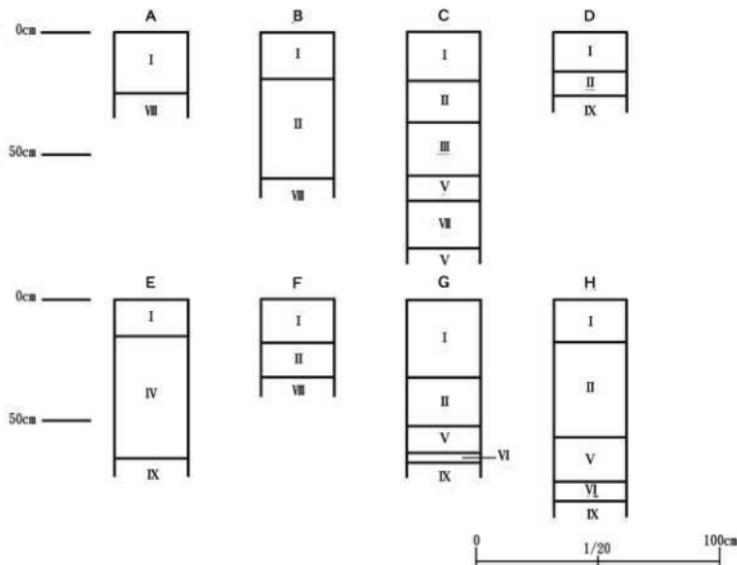
遺構は平安時代の住居跡・柱列・溝跡・土坑などが検出されると推測される。遺物は平安時代の土師器、須恵器が中コンテナで10箱程度出土すると思われる。



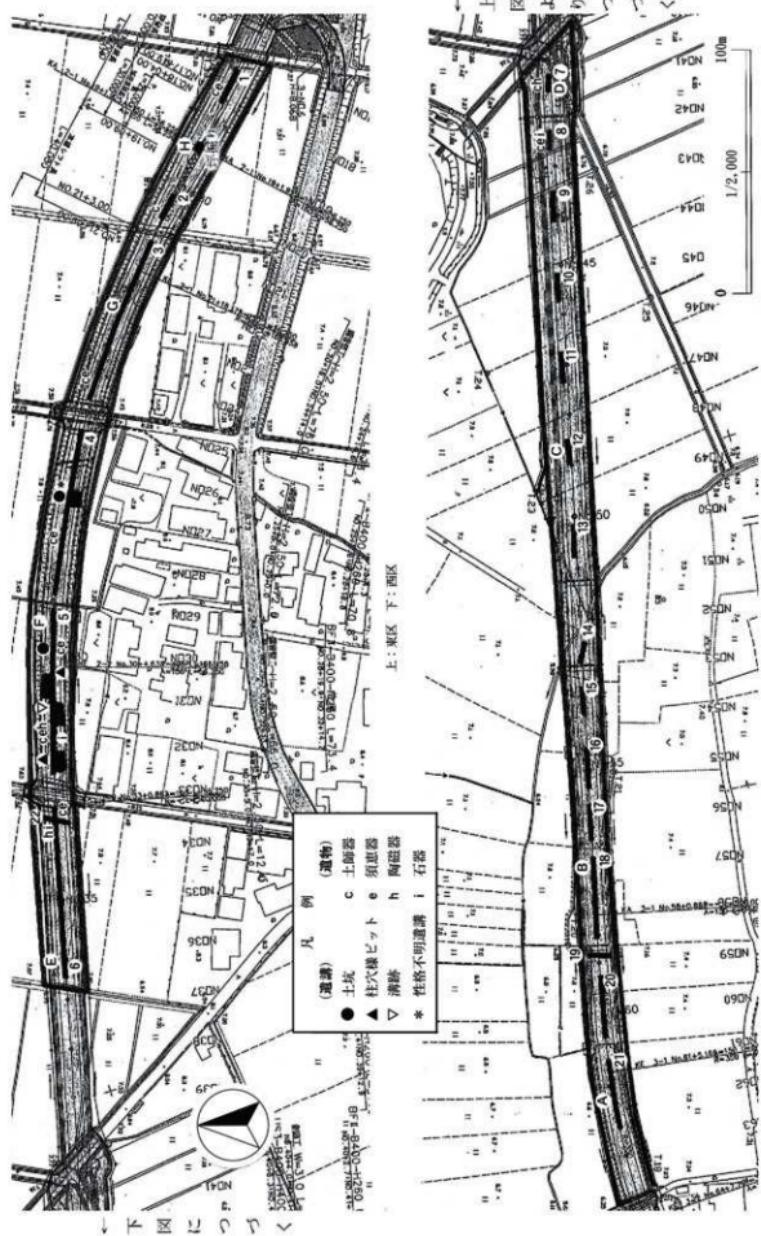
第70図 前谷地遺跡位置図



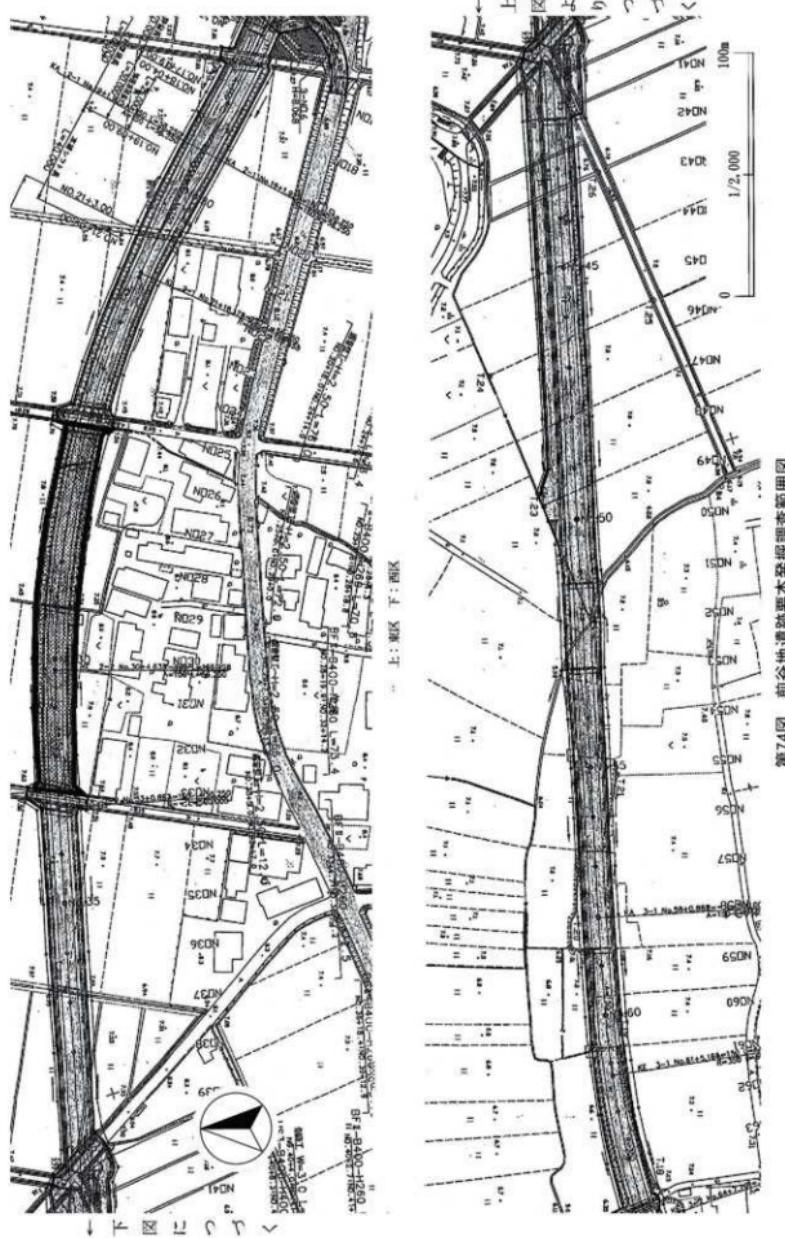
第71図 前谷地遺跡推定範囲図



第72図 前谷地遺跡基本層序図



第73図 前谷地遺跡確認調査結果図





前谷地遺跡  
第4トレンチ(東から)



前谷地遺跡  
第5トレンチ  
溝跡検出状況(西から)



前谷地遺跡  
第4トレンチ  
土坑検出状況(南から)

(5) 塚原ほ場整備(本堂城回地区)

① 払田柵跡(第138次調査)

- |             |  |
|-------------|--|
| 1 遺跡所在地     | 大仙市払田・美郷町本堂城回(調査区は仙北郡美郷町本堂城回)  |
| 2 確認調査期間    | 平成20年11月4日~12月25日  |
| 3 確認調査対象面積  | 121,000m <sup>2</sup> (N区92,000m <sup>2</sup> E区29,000m <sup>2</sup> ) |
| 4 工事区域内遺跡面積 | 121,000m <sup>2</sup> (要本発掘調査面積4,920m <sup>2</sup> )                   |
| 5 遺跡の立地と現況  |  |
| a 立地        |  |

払田柵跡は大仙市大曲地区の東方約6km、横手盆地北側の仙北平野中央部に位置する。新第三紀硬質泥岩からなる真山・長森の丘陵を中心として、北側を川口川・矢島川、南側を丸子川によって区切られた沖積低地に立地する。

b 現況

調査対象区は払田柵跡北部と北東部の沖積地である。主に水田耕作地として現在も利用されている。標高は北部調査区が34.2~36.4m、北東部調査区が35.2~36.4mである。

6 確認調査の方法

調査方法は主に約50×50cmの試掘坑とトレンチを配して行った。工事対象区域が北側と東側に分かれていることから北側をN区、東側をE区と名付けた。各区域の試掘坑とトレンチには、区域を表すアルファベットと通し番号を組み合わせて、N区ではN 1、N 2、N 3、E区ではE 1、E 2、E 3、という名称を付けている。結果的に64地点(N区39か所、E区25か所、面積108m<sup>2</sup>)の調査を行った。

7 確認調査の結果

a 層序

I 層 耕作土層 黒褐色シルト質土(10Y R2/2) 層厚18cm。

II 層 耕作地基盤層 暗灰黄色シルト質粘土(2.5Y4/2) 層厚9cm。

III 層 湿地・河川由来の堆積層

a 暗オリーブ色シルト質土(2.5Y3/3) 遺物包含層 層厚22cm。

b オリーブ黒色シルト質土(5 Y2/2) 層厚15cm。

c 暗オリーブ色シルト質土(2.5Y3/3) 遺物包含層 層厚14cm。上位で土師器出土。

d 黒色シルト質土(2.5Y2/1) 遺構掘り込み面 層厚16cm。

IV 層 地山層 オリーブ黒色シルト質粘土(5Y3/1) グライ化。

上記の層序は遺物包含層(III層)が厚く堆積するN 6区のもので、微高地区域のIII層は土地区域整理によって失われているところがほとんどであった。N 6区以外の湿地区域においても、主にIII d層のみで構成されることが多く、ところによってはIII層中に植物遺体が混入する泥炭層が認められる区域もある。柵木上部堆積土とした層は地山塊が混入するIII d層土を使用した裏込め土である。E区湿地区域のIII d層はE 2、E 9、E 15区で火山灰が確認された。

IV層については湿地・旧河川周辺のIV層は上記のものに砂が混入するタイプのほか、砂利で構成されるタイプがある。またN区北東側微高地はグライ化していないオリーブ褐色シルト質粘土がIV層として確認された。

### b 検出遺構と出土遺物

N区の外柵北門跡推定地（N1区）をトレンチ調査したが外柵北門跡は確認できなかった。当地区は水田造成の際に大きく削られており、外柵北門跡は残っていない可能性がある。その南西側に広がる微高地では溝跡（幅0.7m、深さ0.6m N27区検出）や土師器・須恵器が多く出土した土坑（長さ1.3m以上、深さ0.2m N29区検出）等の遺構群のほか、材木塀角材列が約170mにわたって残っている。

E区の北側微高地上では外柵東門跡を検出した。径60cm程度の門柱が3間（9.5m）×2間（7.4m）で配置された外柵東門跡は外郭東門跡と正対した状態で向き合っており、その南東側2mでは端材が9.5m範囲で分布していた。南側微高地では材木塀角材列が約50mにわたって確認され、その南側調査区外に及んでいる。

### 8 所見

#### a 遺跡の種類

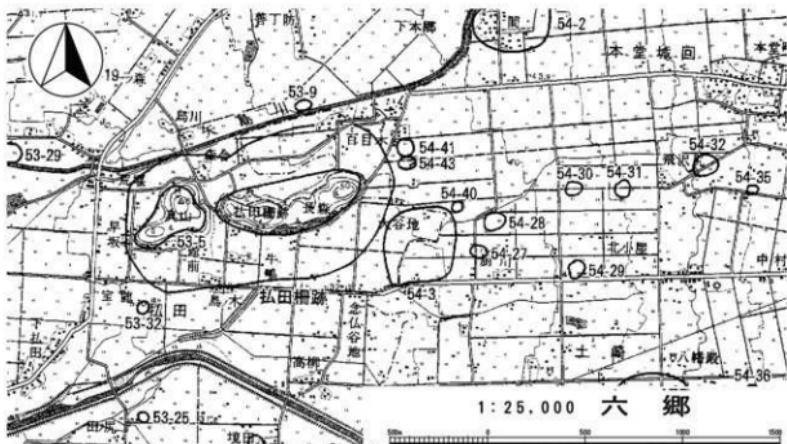
9～10世紀の古代城柵官衙跡である。昭和5年に最初の発掘調査が行われ、同6年に秋田県初の国指定史跡となる。

#### b 遺跡の範囲と工事区域

工事対象区のすべてが遺跡（払田柵跡）の範囲である。

#### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

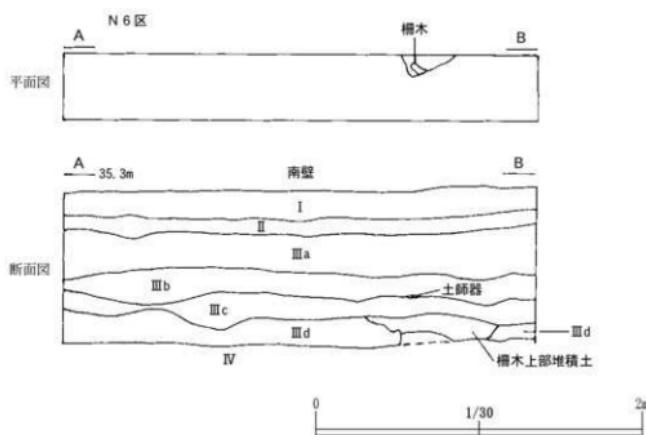
微高地とそれを疊ぐように流れた河川跡のほか、N区西側では土師器・須恵器とともに古代の土坑や溝跡の検出が予想される。



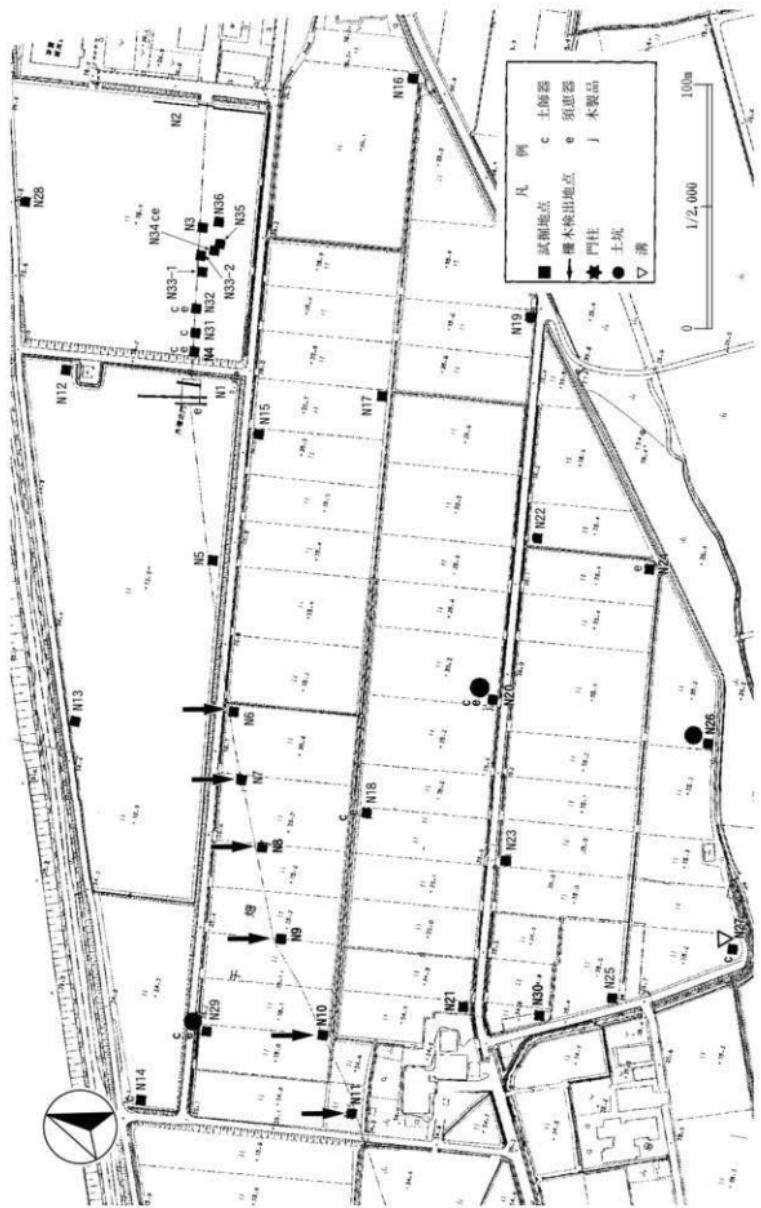
第75図 払田柵跡位置図



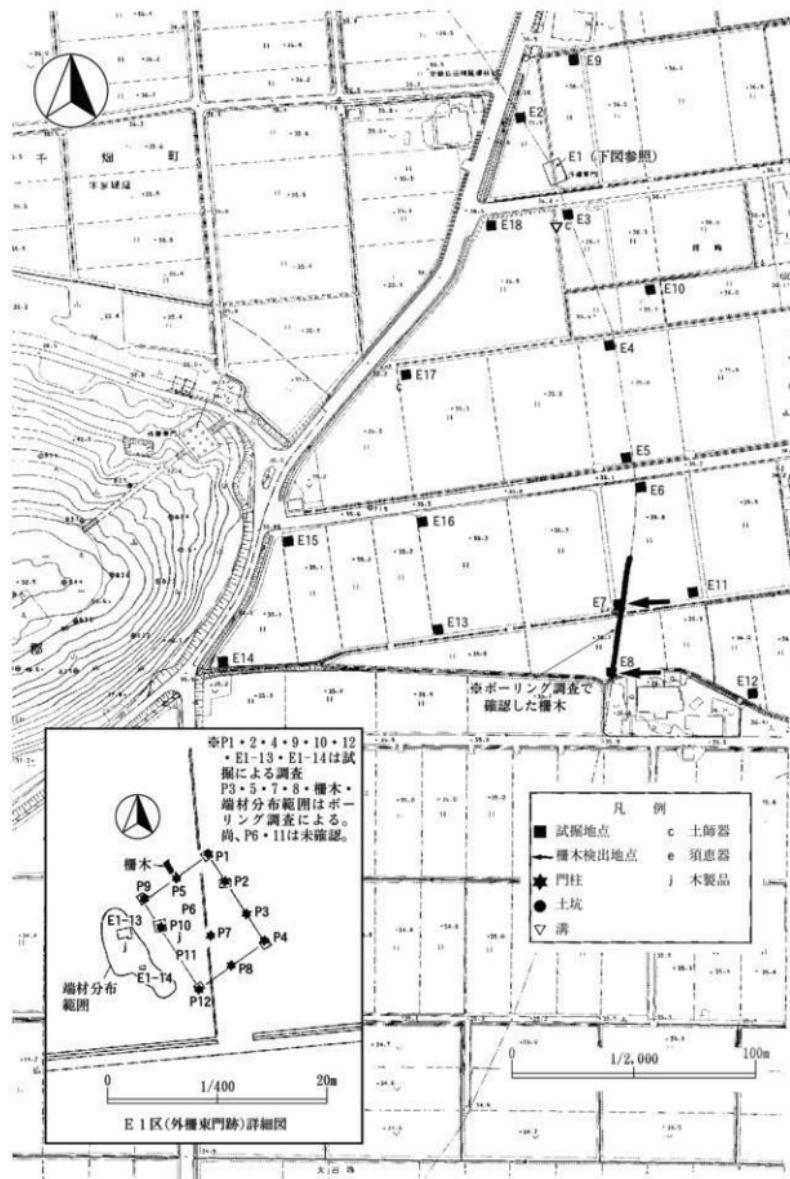
第76図 払田柵跡調査実施位置図

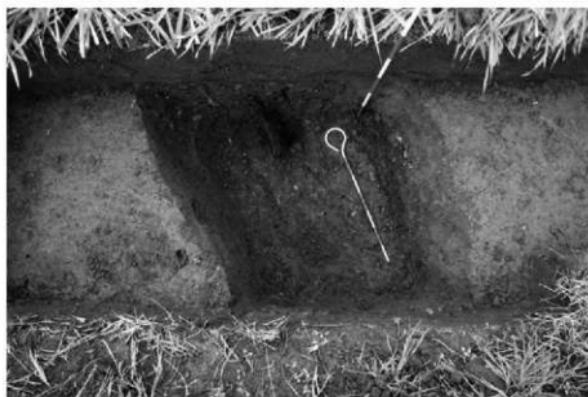


第77図 払田柵跡基本層序図



第78図 手田櫛掛塚跡調査結果図（N区）





払田柵跡  
N 9区  
柵木検出状況(東から)



払田柵跡  
N 29区  
遺物出土状況  
(南西から)



払田柵跡  
E 1区P 9  
外柵東門跡門柱検出状況  
(西から)

秋田県文化財調査報告書第446集

遺跡詳細分布調査報告書

|       |   |
|-------|---|
| 印刷・発行 | 平成21年3月   |
| 編 集   | 秋田県埋蔵文化財センター<br>〒014-0802 大仙市払田字牛嶋20番地<br>電話(0187)69-3331<br>FAX(0187)69-3330 |
| 発 行   | 秋田県教育委員会<br>〒010-8580 秋田市山王三丁目1番1号<br>電話(018)860-5193                         |
| 印 刷   | 株式会社 フロム・エー   |

